

平成 24 年度  
行田市自然環境調査

報 告 書



平成 25 年 3 月  
行田市



# 目 次

1. 調査概要	1
1.1 調査件名	1
1.2 調査目的	1
1.3 履行期間	1
1.4 調査地点	1
1.5 調査項目	2
1.6 調査方法	2
1.7 調査実施日	3
1.8 希少種選定資料	4
2. 調査結果	5
2.1 ヒアリング調査	5
2.2 資料調査	7
2.3 現地調査	17
3. 考察	62
3.1 水田環境の保全	62
3.2 希少動植物の保全	62
3.3 外来生物の管理	64
3.4 自然環境調査地における環境保全対策の考え方	66
4. 資料編	69



## 1. 調査概要

### 1.1 調査件名

第2次行田市環境基本計画策定業務 行田市自然環境調査

### 1.2 調査目的

本調査は、行田市の動植物の生息・生育状況を把握することを目的とし、調査結果は、地域の特徴を活かした適切な保護・保全対策の検討に資する基礎資料とする。

### 1.3 履行期間

自) 平成24年5月30日

至) 平成25年3月31日

### 1.4 調査地点

調査地点は、平成19年度に実施した自然環境調査地点である切り所、星川、長善沼、小崎沼の4地点とした。調査地点位置を図1-1に示す。

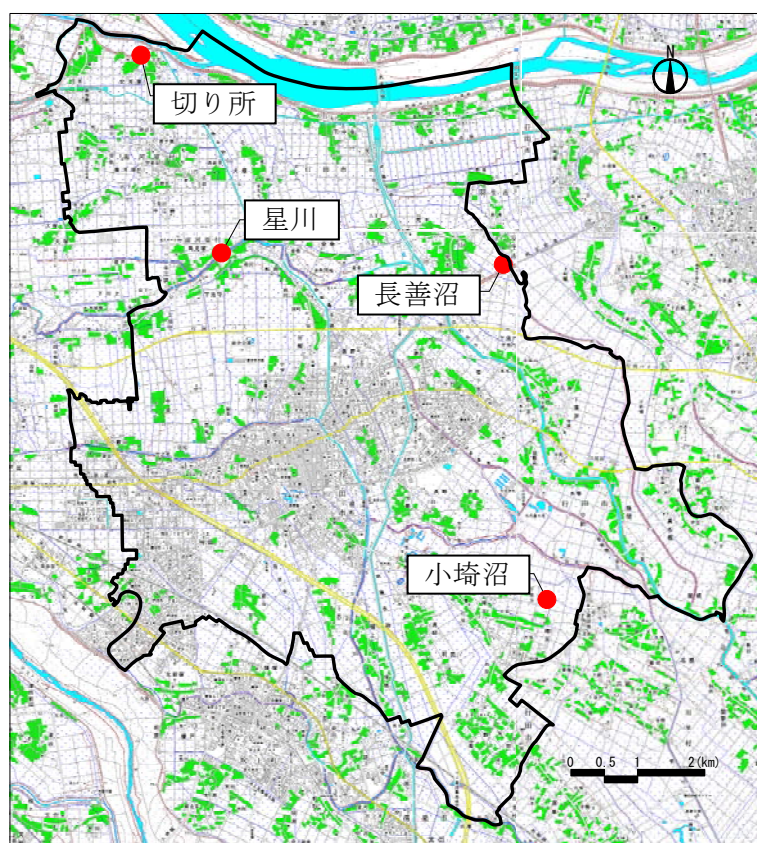


図 1-1 調査地点位置図

## 1.5 調査項目

植物：シダ植物以上の高等植物

動物：哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、魚類（ヒアリングのみ）

## 1.6 調査方法

### (1) ヒアリング調査

鳥獣保護員等にヒアリングを行い、市内の動植物の生息・生育状況について把握、整理した。

### (2) 資料調査

既存資料を基に、市内の動植物の生息・生育状況について把握、整理するとともに、保存すべき種を抽出した。

#### ①植物

市内における保存すべき種、地域の特性を代表する種、植物相等について、確認状況や分布状況を把握した。

#### ②動物

市内における保存すべき種、地域の特性を代表する種について、確認状況や分布状況を把握した。

### (3) 現地調査

市内の保存すべき種の生息・生育状況を把握するため、調査地点を中心に、現地調査及び写真撮影を行った。

#### ①植物

調査地点を中心に多様な環境を踏査し、生育が確認されたシダ植物以上の高等植物を記録した。なお、希少種が確認された場合については、生育状況、確認地点等の記録を行った。

#### ②哺乳類

調査地点を中心に多様な環境を踏査し、目視確認による調査を実施した。特に足跡、糞、食痕などのフィールドサインの確認を重点に調査を実施した。なお、希少種が確認された場合については、生息状況、確認地点等の記録を行った。

※補足調査として長善沼において、センサーカメラによる撮影を実施した。

#### ③鳥類

調査地点を中心に多様な環境を踏査する任意観察調査を実施し、生息が確認された種を記録した。また、ラインセンサス調査（全長 200m、片側 25m、移動速度概ね 2km/h）もあわせて実施した。なお、希少種が確認された場合については、飛翔の状況や確認地点等の記録を行った。

④両生類・爬虫類

調査地点を中心に多様な環境を踏査し、目視確認による調査を実施した。なお、希少種が確認された場合については、生息状況、確認地点等の記録を行った。

⑤昆虫類

調査地点を中心に多様な環境を踏査し、ネット等による捕獲、目視確認による調査を実施した。なお、希少種が確認された場合については、生息状況、確認地点等の記録を行った。

## 1.7 調査実施日

(1) ヒアリング調査

調査実施日：平成 25 年 2 月 19 日

(2) 現地調査

調査実施時期については、夏季及び秋季の 2 回とした。なお、植物のキタミソウ自生地の確認を冬季に実施した。

調査実施日を表 1-1 に示す。

表 1-1 調査実施日

調査日・天候	調査地点	開始時刻	終了時刻	調査項目
平成 24 年 8 月 22 日 【天候：晴れ】	北河原地区切り所周辺	9 : 45	11 : 45	植物、哺乳類、 両生類、爬虫類、 昆虫類
	南河原地区星川周辺	13 : 00	15 : 00	
平成 24 年 8 月 23 日 【天候：晴れ】	荒木地区長善沼周辺	9 : 50	11 : 50	昆虫類
	埼玉地区小崎沼周辺	13 : 00	15 : 00	
平成 24 年 8 月 29 日 【天候：晴れ】	北河原地区切り所周辺	5 : 00	6 : 30	鳥類
	南河原地区星川周辺	6 : 45	8 : 00	
平成 24 年 8 月 30 日 【天候：晴れ】	埼玉地区小崎沼周辺	5 : 00	6 : 00	
	荒木地区長善沼周辺	6 : 10	8 : 20	
平成 24 年 10 月 2 日 【天候：曇り】	荒木地区長善沼周辺	11 : 30	13 : 00	植物、哺乳類、 両生類、爬虫類、 昆虫類
	埼玉地区小崎沼周辺	14 : 15	15 : 45	
平成 24 年 10 月 3 日 【天候：曇り】	北河原地区切り所周辺	10 : 45	12 : 30	昆虫類
	南河原地区星川周辺	13 : 30	15 : 30	
平成 24 年 10 月 9 日 【天候：晴れ】	埼玉地区小崎沼周辺	9 : 45	11 : 30	鳥類
	荒木地区長善沼周辺	12 : 06	14 : 00	
平成 24 年 10 月 10 日 【天候：曇り】	南河原地区星川周辺	8 : 20	10 : 10	
	北河原地区切り所周辺	10 : 40	13 : 00	
平成 25 年 2 月 8 日 【天候：晴れ】	南河原地区星川周辺	12 : 40	13 : 32	植物 (キタミソウ)

## 1.8 希少種選定資料

現地調査で確認された希少種の抽出に当たっては、表 1-2 希少種選定資料を参考にした。

表 1-2 希少種選定資料

選定基準となる文献及び法律		区分
I	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定特別天然記念物 (特)</li> <li>・国指定天然記念物 (国)</li> <li>・県指定天然記念物 (県)</li> <li>・市町村指定天然記念物 (市町村)</li> </ul>
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内希少野生動植物種 (国内)</li> <li>・国際希少野生動植物種 (国際)</li> <li>・緊急指定種 (緊急)</li> <li>・生息地等保護区 (生息)</li> </ul>
III	「環境省レッドリスト」 (2012 年 環境省)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅 (EX)</li> <li>・野生絶滅 (EW)</li> <li>・絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>・絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>・絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>・準絶滅危惧 (NT)</li> <li>・情報不足 (DD)</li> <li>・絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)</li> </ul>
IV	「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」 (2008 年 埼玉県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅 (EX)</li> <li>・野生絶滅 (EW)</li> <li>・絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>・絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>・絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>・準絶滅危惧 (NT1, NT2)</li> <li>・情報不足 (DD)</li> <li>・絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)</li> <li>・地帯別危惧 (RT)</li> </ul>
	「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」 (2011 年 埼玉県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅 (EX)</li> <li>・野生絶滅 (EW)</li> <li>・絶滅危惧 I 類 (CE)</li> <li>・絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>・絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>・絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>・準絶滅危惧 (NT)</li> <li>・情報不足 (DD)</li> <li>・絶滅の恐れがある地域個体群 (LP)</li> </ul>
V	「緑の国勢調査 -自然環境保全調査報告書-」 (1976 年 環境庁)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要野生動物 (主)</li> </ul>
VI	「第 2 回緑の国勢調査 -第 2 回自然環境保全基礎調査報告書-」 (1983 年 環境庁)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少種 (稀)</li> <li>・調査対象種 (調)</li> <li>・指定昆虫 (指)</li> <li>・特定昆虫 [埼玉県] (特)</li> </ul>



## 2. 調査結果

### 2.1 ヒアリング調査

調査地点におけるヒアリング調査結果を表 2-1 に示す。

表 2-1 調査地点における確認情報（1）

調査項目等	北河原地区 切り所	南河原地区 星川	荒木地区 長善沼	埼玉地区 小埼玉沼
植物	—	キタミソウ、オオカワ ヂシャ、コイヌガラシ オオブタクサ	—	—
哺乳類	タヌキ、ハクビシン、 イタチ、アライグマ、 モグラ	タヌキ、ハクビシン、 イタチ、アライグマ	タヌキ、ハクビシン	タヌキ、ハクビシン
鳥類	キジ、ウ、バン、ノス リ、トビ、セキレイ類	カイツブリ、バン、カ ルガモ、オオヨシキ リ、カモ類、カワセミ、 オオタカ、チョウゲン ボウ、ハヤブサ、ノス リ、ウ、キジ	キジ、カモ類、ウ、キ ジバト、カラス、ノス リ、トビ	キジ、ノスリ、ウ、ト ビ
両生類・爬虫類	ウシガエル、ミシシッ ピアカミミガメ	ウシガエル、トウキョ ウダルマガエル、ヌマ ガエル、ニホンアマガ エル、ヒバカリ、ミシ シッピアカミミガメ	ウシガエル、ミシシッ ピアカミミガメ	ウシガエル
魚類・水生生物	オオクチバス、ブルー ギル、コイ、フナ	ヨシノボリ、ニゴイ、 ウグイ、モツゴ、コイ、 フナ類、タモロコ、オ オクチバス、ブルーギ ル、オイカワ、カマツ カ、ドジョウ、シジミ 貝	—	—
昆虫類	—	アカボシゴマダラ、ウ ラギンシジミ、クマゼ ミ、ヒョウモンチョ ウ、タマムシ、ツマグ ロヒョウモン	—	—

表 2-1 調査地点における確認情報（2）

調査項目等	北河原地区 切り所	南河原地区 星川	荒木地区 長善沼	埼玉地区 小埼玉
増減が見られた 動植物	<増加> 鳥類：キジ、ウ 魚類：ヘラブナ	<増加> 鳥類：ウ 昆虫類：アオマツム シ、カミキリムシ 魚類：ヘラブナ	<増加> 鳥類：ウ	<増加> 鳥類：ウ
	<減少> 鳥類：カモ類、サギ類 爬虫類：アオダイショ ウ、シマヘビ、ヤマカ ガシ、マムシ 昆虫類：トンボ類、オ オムラサキ、イナゴな どのバッタ類 魚類：マブナ、ドジョ ウ 甲殻類：アメリカザリ ガニ	<減少> 鳥類：シラコバト、カ モ類、サギ類 爬虫類：アオダイシ ョウ、ジムグリ、シマ ヘビ、マムシ、ヤマカ ガシ 昆虫類：トンボ類、 ヤマトシジミ、ツバメ シジミ、ルリシジミ、 ウラナミシジミ 魚類：タイリクバラタ ナゴ、マブナ 貝類：ドブガイ	<減少> 植物：水草、ヨシ 哺乳類：タヌキ、キ ツネ 鳥類：サギ類、カモ類 爬虫類：アオダイシ ョウ、シマヘビ、ヤマ カガシ、マムシ 昆虫類：トンボ類 魚類：ナマズ、ライギ ョ、ウナギ、フナ	<減少> 鳥類：キジ、カモ類、 サギ類 爬虫類：アオダイシ ョウ、シマヘビ、ヤマ カガシ、マムシ
昔みかけた 動植物	鳥類：フクロウ 爬虫類：イシガメ（地 方名：キンガメ）、クサ ガメ（地方名：ドロガ メ）	鳥類：フクロウ、ウズ ラ（昭和 40 年代初め まで繁殖） 両生類：シュレーゲ ルアオガエル、ニホン アガガエル、イモリ （昭和 20 年代） 爬虫類：イシガメ、 クサガメ 昆虫類：ノコギリク ワガタ、コクワガタ、 カブトムシ	爬虫類：イシガメ 魚類：タナゴ類	爬虫類：イシガメ、 クサガメ

上記結果の他に、哺乳類では、福川、利根川でホンドキツネ、埼玉地区でノウサギの生息情報が得られた。さらに北河原、南河原地区周辺でイノシシ及びニホンザルの目撃情報が得られているが、市内には生息しておらず、山間部から迷い込んだ個体とみられる。また、特定外来生物のアライグマが民家に生息していたという事例が確認されている。

鳥類では、昭和 40 年代初めまで、市内で繁殖が確認されていたウズラが見られなくなり、シラコバトについても最近の確認されていないとのことである。

両生類では、ヌマガエルが 5 年程前から見られるようになったという情報が得られた。

## 2.2 資料調査

### (1) 植物

#### ①植物相

「行田の自然 植物と野鳥（2009年 いのち輝く水辺の再生をめざしてキタミソウPR大作戦実行委員会）」によれば、「行田市における分布上重要な植物」として、10科12種の植物を挙げている。

「行田市における分布上重要な植物」一覧を表2-2に示す。

表2-2 「行田市における分布上重要な植物」一覧

区分	科名	和名	確認状況等*
絶滅してしまった可能性のあるもの	ミツガシワ科	ヒメシロアサザ	行田市では、3ヶ所で生育が確認されている。確認環境は休耕田である。
	イネ科	セトガヤ	低地の草原、水田跡地などに生じる。行田市では護岸工事のなされていない用水路の河川敷にスズメノテッポウ（イネ科）などと一緒に生育している。
	ゴマノハグサ科	キタミソウ	生えている場所はごく限られている。水田の用水路など、発芽するまでたっぷり水があり、芽を出したら水が引いてしまうような特殊な場所だけに生える。
生育場所が限られているもの	サンショウモ科	サンショウモ	水生シダ植物。行田市内では、田や用水路に浮遊して生育している。
	ヒシ科	ヒシ	低地の湖面の水面に群生する浮葉植物で、行田市では、1ヶ所のみで生育が確認されている。
	トチカガミ科	ミズオオバコ	沼、池、川の底または湿地などの水中に生じる。行田市では、2ヶ所で確認されている。いずれの場所も個体数が1~2株と少なく、絶滅寸前である。
	カヤツリグサ科	ヤガミスゲ	低地の河畔、湿気のある草原に生育する。行田市では、護岸工事のしていない用水路の河川敷にまれにみられる。
個体数が少ないもの	ホウライシダ科	ミズワラビ	水生シダ植物。耕地整理があまりなされていない水稻の刈り取り後の水田や用水路にみられる。
	スマレ科	アリアケスマレ	行田市では護岸工事のなされていない川の河川敷の湿った場所にみられる。
	キク科	タカアザミ	湿地などに生える大型のアザミで、行田市では、利根川河川敷でまれにみられる。
	カヤツリグサ科	オニスゲ	行田市では、田の用水路で生育が確認されたが、個体数はきわめて少ない。
ハマスゲ		市内では、利根川の河川敷と田の畦に見られる。	

※表中の「確認状況等」は、1994年4月から2005年8月までに行った現地調査結果を基に作成しており、現在の生育状況等に関しては不明である。なお、キタミソウに関しては、星川において群生地が確認されており、絶滅の可能性は少ない状況である。

また、「行田市環境基本計画推進業務（自然環境調査）報告書（平成 20 年 3 月発行 行田市）」によれば、平成 19 年度に確認された希少種として、4 科 4 種の植物を挙げている。

平成 19 年度に確認された希少植物一覧を表 2-3 に示す。

表 2-3 平成 19 年度に確認された希少植物一覧

No.	科名	和名	選定基準					現地調査(H19)			
			I	II	III	IV	V	切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	ミズワラビ	ミズワラビ					NT			○	○
2	アブラナ	コイヌガラシ			NT		NT				○
3	ミソハギ	ヒメミソハギ					NT			○	
4	ゴマノハグサ	キタミソウ			VU		CR		○		
計	4 科	4 種	0 種	0 種	2 種	0 種	4 種	0 種	1 種	2 種	2 種

注) 選定基準については、平成 20 年 3 月現在の選定資料による。

【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」（文化財保護法：昭和 25 年 法律第 214 号）
- II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）
- III : 「環境省レッドリスト 2007 植物 I（維管束植物）」（2007 年 環境省）
- IV : 「緑の国勢調査－自然環境保全調査報告書－」（1976 年 環境庁）
- V : 「改定・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（2005 年 埼玉県）

## ②植物群落

「埼玉県レッドデータブック2011植物編 埼玉県の希少野生生物(2012年3月 埼玉県環境部自然環境課)」によれば、「埼玉県の希少な植物群落(草本)」として、8件が該当する結果となった。選定された植物群落の中で、「コイヌガラシ群落」については、行田市内の水田に広く見られると考えられる。また、「星川斎条堰の河辺季節植物群落」は、さまざまな植物群落を複合して選定されており、希少種であるキタミソウなどの自生地となっている。

行田市の希少な植物群落一覧表を表2-4に示す。

表2-4 行田市の希少な植物群落一覧表

No.	群落名	主な分布地	選定基準								
			A 原生自然	B きわめて稀	C 分布限界	D 特殊立地	E 郷土景観	F 人工放置	G 絶滅危惧	H 学術重要	I 地域文化
<b>水田雑草群落</b>											
1	コイヌガラシ群落	行田市, 久喜市, 加須市, 春日部市他							○		
<b>浮葉植物群落</b>											
2	ヒメシロアサザ群落	行田市, 久喜市, 熊谷市, 加須市他		○		○			○		
3	ヒルムシロ群落	行田市, 熊谷市, 加須市, 神川町他		○							
<b>沈水植物群落</b>											
4	コウガイモ群落	行田市, 羽生市, 久喜市, 加須市他							○		
5	セキシヨウモ群落	行田市, 羽生市, 久喜市, 加須市他							○		
6	ミズオオバコ群落	行田市, 加須市, さいたま市他							○		
<b>浮水植物群落</b>											
7	サンショウモ群落	行田市, 熊谷市, 本庄市, 宮代町他							○		
<b>複合群落</b>											
8	星川斎条堰の河辺季節植物群落	行田市					○				○

## (2) 動物

## ①哺乳類

「行田市環境基本計画推進業務(自然環境調査)報告書(平成20年3月発行 行田市)」によれば、平成19年度に確認された希少種として、1目2科2種の哺乳類を挙げている。

平成19年度に確認された希少哺乳類一覧を表2-5に示す。

表2-5 平成19年度に確認された希少哺乳類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査(H19)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	ネコ	イヌ	タヌキ					調	RT	○	○	○	
2		イタチ	イタチ						RT		○		○
計	1目	2科	2種	0種	0種	0種	0種	1種	2種	0種	2種	1種	1種

注) 選定基準については、平成20年3月現在の選定資料による。

## 【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」(文化財保護法：昭和25年 法律第214号)
- II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
- III : 「環境省レッドリスト2007 哺乳類」(2007年 環境省)
- IV : 「緑の国勢調査－自然環境保全調査報告書－」(1976年 環境庁)
- V : 「第2回緑の国勢調査－第2回自然環境保全基礎調査報告書－」(1983年 環境庁)
- VI : 「埼玉県レッドリスト2007 動物編」(2007年 埼玉県)

## ②鳥類

「行田の自然 植物と野鳥（2009年 いのち輝く水辺の再生をめざしてキタミソウPR大作戦実行委員会）」によれば、1962年4月～1998年3月に行田市内で記録された鳥類のうち、14目27科78種の鳥類が希少種に選定されている。

1962年4月～1998年3月に確認された希少鳥類一覧を表2-6に示す。

表2-6 1962年4月～1998年3月に確認された希少鳥類一覧（1）

No.	目名	科名	和名	選定基準			
				I	II	III	IV
1	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ				NT
2			ミミカイツブリ				VU
3			アカエリカイツブリ				VU
4			カンムリカイツブリ				VU
5	コウノトリ目	サギ科	ヨシゴイ			NT	VU
6			オオヨシゴイ			CR	EX
7			ミゾゴイ			VU	EN
8			ササゴイ				VU
9			チュウサギ			NT	VU
10	ガンカモ目	ガンカモ科	マガン			NT	CR
11			オオハクチョウ				CR
12			コハクチョウ				NT
13			アカツクシガモ			DD	
14			オシドリ			DD	
15			トモエガモ			VU	VU
16	ワシタカ目	ワシタカ科	ミサゴ			NT	
17			ハチクマ			NT	VU
18			オオタカ		国内	NT	VU
19			ツミ				NT
20			ハイタカ			NT	NT
21			ノスリ				NT
22			サシバ			VU	EN
23			チュウヒ			EN	EN
24			ハヤブサ科	ハヤブサ			VU
25		チョウゲンボウ					NT
26	キジ目	キジ科	ウズラ			VU	EN
27	ツル目	クイナ科	クイナ				VU
28			ヒクイナ			NT	CR
29			バン				NT
30			オオバン				CR
31	チドリ目	タマシギ科	タマシギ				CR
32		チドリ科	イカルチドリ				NT
33			シロチドリ				LP
34			ケリ			DD	LP
35			タゲリ				NT
36		シギ科	キョウジョシギ			NT	
37			ハマシギ			VU	
38			ツルシギ				NT
39			イソシギ				NT
40			ヤマシギ			NT	CR
41		ツバメチドリ科	ツバメチドリ			VU	CR
42	カモメ科	コアジサシ			VU	EN	

表 2-6 1962 年 4 月～1998 年 3 月に確認された希少鳥類一覧（2）

No.	目名	科名	和名	選定基準				
				I	II	III	IV	
43	ハト目	ハト科	シラコバト			EN	VU	
44	フクロウ目	フクロウ科	トラフズク				EN	
45			コミミズク				VU	
46			オオコノハズク				NT	
47			アオバズク				RT	
48	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ			NT	VU	
49	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ				NT	
50	ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ				RT	
51			カワセミ				LP	
52	キツツキ目	キツツキ科	アリスイ				NT	
53			アオゲラ				RT	
54	スズメ目	ツバメ科	コシアカツバメ				VU	
55		サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	VU	
56		ヒタキ科	ツグミ亜科	ルリビタキ				RT
57				トラツグミ				RT
58				クロツグミ				RT
59		ウグイス亜科		ヤブサメ				RT
60				ウズイス				RT
61				コヨシキリ				VU
62				センダイムシクイ				RT
63		ヒタキ亜科		キビタキ				RT
64				オオルリ				RT
65				コサメビタキ				RT
66			カササギビタキ亜科	サンコウチョウ				VU
67			エナガ科	エナガ				RT
68			シジュウカラ科	ヒガラ				RT
69				ヤマガラ				RT
70			ホオジロ科	ホオジロ				RT
71				コジュリン			VU	VU
72				ホオアカ				CR
73				ノジコ			NT	
74		アオジ					NT	
75		クロジ					RT	
76		アトリ科	ベニマシコ				RT	
77		ハタオリドリ科	ニューナイスズメ				VU	
78		ムクドリ	コムクドリ				DD	
計	14 目	27 科	78 種	0 種	1 種	28 種	72 種	

注) 希少種の選定基準は、表 1-2 希少種選定資料を参考にした。

【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」(文化財保護法：昭和 25 年 法律第 214 号)  
 II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 法律第 75 号)  
 III : 「環境省レッドリスト 2012 鳥類」(2012 年 環境省)  
 IV : 「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」(平成 20 年 3 月 埼玉県)



また、「行田市環境基本計画推進業務（自然環境調査）報告書（平成 20 年 3 月発行 行田市）」によれば、平成 19 年度に確認された希少種として、6 目 7 科 8 種の鳥類が挙げられる。

平成 19 年度に確認された希少鳥類一覧を表 2-7 に示す。

表 2-7 平成 19 年度に確認された希少鳥類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査(H19)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	ペリカン	ウ	カワウ				主			○	○	○	
2	コウノトリ	サギ	チュウサギ			NT			VU				○
3			アオサギ						DD	○	○		
4	タカ	タカ	トビ						DD	○			
5		ハヤブサ	チョウゲンボウ					稀	NT2		○		
6	ツル	クイナ	バン						NT2	○			
7	チドリ	シギ	イソシギ						NT2	○			
8	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				主		LP		○	○	
計	6 目	7 科	8 種	0 種	0 種	1 種	2 種	1 種	7 種	5 種	4 種	2 種	1 種

注) 選定基準については、平成 20 年 3 月現在の選定資料による。

【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」(文化財保護法：昭和 25 年 法律第 214 号)
- II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 法律第 75 号)
- III : 「環境省レッドリスト 2006 鳥類」(2006 年 環境省)
- IV : 「緑の国勢調査－自然環境保全調査報告書－」(1976 年 環境庁)
- V : 「第 2 回緑の国勢調査－第 2 回自然環境保全基礎調査報告書－」(1983 年 環境庁)
- VI : 「埼玉県レッドリスト 2007 動物編」(2007 年 埼玉県)

## ③両生類・爬虫類

「行田市環境基本計画推進業務(自然環境調査)報告書(平成20年3月発行 行田市)」によれば、平成19年度に確認された希少種として、両生類及び爬虫類共に、1目1科1種が挙げられる。

平成19年度に確認された希少両生類及び爬虫類一覧を表2-8及び表2-9に示す。

表2-8 平成19年度に確認された希少両生類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査(H19)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	カエル	アカガエル	トウキョウダルマガエル						NT2				○
計	1目	1科	1種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	0種	0種	1種

注) 選定基準については、平成20年3月現在の選定資料による。

## 【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」(文化財保護法：昭和25年 法律第214号)
- II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
- III : 「環境省レッドリスト2007 哺乳類」(2007年 環境省)
- IV : 「緑の国勢調査－自然環境保全調査報告書－」(1976年 環境庁)
- V : 「第2回緑の国勢調査－第2回自然環境保全基礎調査報告書－」(1983年 環境庁)
- VI : 「埼玉県レッドリスト2007 動物編」(2007年 埼玉県)

表2-9 平成19年度に確認された希少爬虫類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査(H19)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	カメ	イシガメ	クサガメ						NT2		○		
計	1目	1科	1種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	1種	0種	0種

注) 選定基準については、平成20年3月現在の選定資料による。

## 【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」(文化財保護法：昭和25年 法律第214号)
- II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
- III : 「環境省レッドリスト2007 哺乳類」(2007年 環境省)
- IV : 「緑の国勢調査－自然環境保全調査報告書－」(1976年 環境庁)
- V : 「第2回緑の国勢調査－第2回自然環境保全基礎調査報告書－」(1983年 環境庁)
- VI : 「埼玉県レッドリスト2007 動物編」(2007年 埼玉県)

## ④昆虫類

「行田市環境基本計画推進業務(自然環境調査)報告書(平成20年3月発行 行田市)」によれば、平成19年度に確認された希少種として、2目4科4種が挙げられる。

平成19年度に確認された希少昆虫類一覧を表2-10に示す。

表2-10 平成19年度に確認された希少昆虫類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査(H19)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小埜沼
1	バッタ	コオロギ	オオオカメコオロギ					特	EN		○		
2		スズムシ	スズムシ						NT1				○
3	チョウ	アゲハチョウ	アオスジアゲハ					特			○		○
4		タテハチョウ	アサマイチモンジ						NT2				○
計	2目	4科	4種	0種	0種	0種	0種	2種	3種	0種	2種	0種	3種

注) 選定基準については、平成20年3月現在の選定資料による。

## 【選定基準】

- I : 「国、県、市町村の天然記念物」(文化財保護法 : 昭和25年 法律第214号)
- II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
- III : 「環境省レッドリスト2007 哺乳類」(2007年 環境省)
- IV : 「緑の国勢調査－自然環境保全調査報告書－」(1976年 環境庁)
- V : 「第2回緑の国勢調査－第2回自然環境保全基礎調査報告書－」(1983年 環境庁)
- VI : 「埼玉県レッドリスト2007 動物編」(2007年 埼玉県)

## (3) ヒアリング調査

平成 19 年度に実施されたヒアリング調査の結果を表 2-11 に示す。

表 2-11 平成 19 年度に実施したヒアリング調査結果

調査項目等	北河原地区 切り所	南河原地区 星川	荒木地区 長善沼	埼玉地区 小埼沼
植物	—	キタミソウ	—	—
哺乳類	タヌキ	タヌキ、イタチ、ハクビシン	タヌキ、ノウサギ	タヌキ
鳥類	カモ類 (カルガモ、オナガガモ、マガモ、コガモ、ヨシガモ)、キジ、ウ、カラス	カモ類 (オナガガモ、マガモ、カルガモ、コガモ)、キジ (放鳥)、バン、カワセミ、アオサギ、カワウ、スズメ、ヒバリ、ムクドリ、オナガ、ヒヨドリ、モズ、キジバト、シラコバト、カラス、オオタカ、チョウゲンボウ	カモ類、キジバト、ドバト	カモ類、キジ、ハト、コジュケイ
両生類・爬虫類	—	—	—	ウシガエル
魚類・水生生物	コイ (放流)、フナ (放流)	ブラックバス、ブルーギル、コイ、ナマズ、ウナギ	—	ドジョウ、ライギョ、ザリガニ、タニシ
昆虫類	シオカラトンボ	—	—	—
増減が見られた 動植物	—	〈増加〉 アオサギ 〈減少〉 カワセミ、ヨシキリ	〈減少〉 ウズラ、コジュケイ、 キジ	〈増加〉 ザリガニ、ライギョ 〈減少〉 ウシガエル、ドジョウ
昔みかけた 動植物	ナマズ、ウナギ、コイ、 フナ	ノウサギ、ヨシキリ、 メダカ、カメ、ウズラ	ナマズ、ライギョ、タ ナゴ	シギ、メダカ、イモリ、 ヤモリ

## 2.3 現地調査

### (1) 植物

現地調査の結果、77科225種の植物種を確認した。この中で、5科8種の植物種が希少種であった。確認された希少種のほとんどは、水田などの耕作地やため池などの水辺環境で生育が確認されている。

現地調査で確認された植物数及び植物一覧を表2-12及び表2-13に示す。また、現地調査で確認された希少植物一覧を表2-14、希少植物確認状況及び確認位置を表2-15及び図2-1～4に示す。

表2-12 現地調査で確認された植物数

分類			切り所		星川		長善沼		小埜沼		現地合計		
			科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
シダ植物			3	4	2	2	2	2	2	2	3	4	
種子植物	裸子植物		0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	
	被子植物	双子葉植物	23	離弁花類	44	21	42	24	49	29	54	39	96
		合弁花類		13	31	11	27	13	37	11	32	17	67
	単子葉植物		9	31	8	33	7	28	12	25	12	52	
合計			48	110	42	104	46	116	60	119	77	225	

現地調査 (植物)

表 2-13 現地調査で確認された植物一覧 (1)

No.	分類	科名	和名	学名	現地調査 (H24)			
					切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	シダ植物	トクサ	スキナ	<i>Equisetum arvense</i>	○	○	○	○
2			イストクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i>	○			
3		ミスワレビ	ミスワレビ	<i>Ceratopteris thalictroides</i>	○	○	○	○
4		メシタ	イヌワレビ	<i>Athyrium niponicum</i>	○			
5	種子植物 裸子植物	マツ	コヨウマツ	<i>Pinus parviflora</i>				○
6		スキ	スキ	<i>Cryptomeria japonica</i>				○
7		ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>				○
8		マキ	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i>				○
9		イチイ	カヤ	<i>Torreya nucifera</i>				○
10		イチョウ	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>				○
11	種子植物 被子植物 双子葉植物 離弁花類	クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>				○
12		ヤナギ	アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>	○		○	
13		ブナ	スタジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i>			○	
14			シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i>		○	○	
15		ニレ	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i>	○	○	○	○
16			エノキ	<i>Celtis sinensis</i>	○	○	○	○
17			ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>		○		
18		クワ	カシノキ	<i>Broussonetia papyrifera</i>			○	○
19			クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>	○			
20			カナムクワ	<i>Humulus scandens</i>	○		○	○
21		タデ	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>	○			
22			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>		○	○	
23			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>		○	○	○
24			イシミカリ	<i>Persicaria perfoliata</i>		○		
25			ヤブタデ	<i>Persicaria posumbu</i>	○			○
26			ニオイタデ	<i>Persicaria viscosa</i>			○	
27			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>aviculare</i>			○	
28			キシキシ	<i>Rumex japonicus</i>		○	○	
29			コキシキシ	<i>Rumex dentatus</i> ssp. <i>klotzschianus</i>	○	○		
30			ヤマコホウ	ヨウシュヤマコホウ	<i>Phytolacca americana</i>			○
31		スベリヒユ	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>	○	○	○	○
32			ヒメマツバホタン	<i>Portulaca pilosa</i>		○		
33			ナテシコ	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>			○
34			コハコベ	<i>Stellaria media</i>				○
35		アカサ	シロサ	<i>Chenopodium album</i>	○	○	○	○
36			コウシュウアリタリウ	<i>Chenopodium pumilio</i>	○		○	○
37		ヒユ	ヒナタイノコスチ	<i>Achyranthes fauriei</i>	○	○	○	○
38			イヌヒユ	<i>Amaranthus blitum</i>		○	○	○
39			ホソアオケイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i>	○			○
40		マツフサ	サネカスラ	<i>Kadsura japonica</i>		○		○
41	クスノキ	シロタモ	<i>Neolitsea sericea</i>	○	○	○	○	
42	キンボウケ	ケキツネノホタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	○	○			
43	メギ	ナンテン	<i>Nandina domestica</i>				○	
44	アケビ	ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i>				○	
45	ツツラフシ	アオツツラフシ	<i>Cocculus trilobus</i>				○	
46	トクダミ	トクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	○	○		○	
47	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i>	○				
48	ツバキ	サカキ	<i>Cleyera japonica</i>				○	
49		ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i> var. <i>japonica</i>				○	
50	ケシ	タケクサ	<i>Macleaya cordata</i>	○				
51	アブラナ	タネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i>	○			○	
52		マメクシバ イナスナ	<i>Lepidium virginicum</i>	○				
53		コイヌカラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i>	○	○	○	○	
54		イヌカラシ	<i>Rorippa indica</i>				○	
55		スカシタコホウ	<i>Rorippa palustris</i>	○		○	○	
56	ハナ	ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i>	○	○	○		
57		ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>	○				
58		シャリンハイ	<i>Rhaphiolepis indica</i> var. <i>umbellata</i>			○		
59		ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>	○		○		

表 2-13 現地調査で確認された植物一覧 (2)

No.	分類	科名	和名	学名	現地調査 (H24)				
					切り所	星川	長善沼	小崎沼	
60	種子植物 被子植物 双子葉植物 離弁花類	マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>		○	○	○	
61			ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> ssp. <i>edgeworthii</i> var. <i>japonica</i>		○		○	
62			アレチヌスビトハキ	<i>Desmodium paniculatum</i>			○	○	
63			ツルマメ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>	○	○	○		
64			ヤハスソウ	<i>Kummerowia striata</i>				○	
65			メトハキ	<i>Lespedeza cuneata</i>				○	
66			ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	○	○			
67			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	○	○	○	○	
68			ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>	○	○	○		
69			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>			○		○
70			カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>	○		○	○
71				オウツチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>	○	○		○
72			アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>	○	○			
73		トウダイクサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>	○	○	○	○	
74			トウダイクサ	<i>Euphorbia helioscopia</i>				○	
75			オオニシキソウ	<i>Chamaesyce nutans</i>	○	○	○		
76			コニシキソウ	<i>Chamaesyce maculata</i>	○		○	○	
77			アカメカシワ	<i>Mallotus japonicus</i>	○	○	○	○	
78		カエデ	ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i>				○	
79			イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>				○	
80			オオモミジ	<i>Acer amoenum</i>				○	
81		トチノキ	トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i>			○		
82		モチノキ	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>crenata</i>				○	
83			モチノキ	<i>Ilex integra</i>				○	
84		ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>			○		
85			マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>				○	
86		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>				○	
87			ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>	○	○	○	○	
88		アオイ	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>				○	
89	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>			○	○		
90		カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i>	○			○		
91	ミソハキ	ホソバヒメミソハキ	<i>Ammannia coccinea</i>	○		○	○		
92		ヒメミソハキ	<i>Ammannia multiflora</i>		○				
93		ミソハキ	<i>Lythrum anceps</i>		○				
94		キカシクサ	<i>Rotala indica</i>	○	○	○	○		
95		ミスマツバ	<i>Rotala mexicana</i>	○	○	○	○		
96	アカハナ	チョウジタテ	<i>Ludwigia epilobioides</i>	○	○	○	○		
97		メマツヨイクサ	<i>Oenothera biennis</i>			○			
98		コマツヨイクサ	<i>Oenothera laciniata</i>		○		○		
99		ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>	○		○			
100	アリノトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>		○				
101	ミスギ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>japonica</i>				○		
102		ミスギ	<i>Cornus controversa</i>				○		
103		ハナミスギ	<i>Cornus florida</i>				○		
104	ウコギ	タラノキ	<i>Aralia elata</i>	○					
105		ヤツテ	<i>Fatsia japonica</i>				○		
106		キツタ	<i>Hedera rhombea</i>	○	○	○	○		
107		種子植物	ツツジ	オオムラサキ	<i>Rhododendron × pulchrum</i>			○	
108	被子植物	ヤブコウジ	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>			○		
109			ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>			○		
110	双子葉植物	サクラソウ	コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i>	○				
111			カキノキ	<i>Diospyros kaki</i>		○			
112	合弁花類	キョウチクトウ	キョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> var. <i>indicum</i>			○		
113			カカイモ	<i>Metaplexis japonica</i>	○	○	○	○	
114	アカネ	フタバムグラ	フタバムグラ	<i>Hedyotis brachypoda</i>			○		
115			ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	○	○	○	○	
116			アカネ	<i>Rubia argyi</i>				○	
117	ヒルガオ	コヒルガオ	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i>	○				
118			マメアサカオ	<i>Ipomoea lacunosa</i>	○				
119			マルハルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>		○	○		

現地調査 (植物)

表 2-13 現地調査で確認された植物一覧 (3)

No.	分類	科名	和名	学名	現地調査 (H24)				
					切り所	星川	長善沼	小崎沼	
120	種子植物 被子植物 双子葉植物 離弁花類	ムラサキ	ハナイハナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i>		○	○	○	
121		クマツヅラ	クサキ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>		○	○		
122		シソ	カキトオシ		<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>	○			
123			ホトケノザ		<i>Lamium amplexicaule</i>				○
124			シソ		<i>Perilla frutescens</i> var. <i>crispa</i>		○		
125			イヌコマ		<i>Sachys aspera</i> var. <i>hispidula</i>			○	
126			ニカクサ		<i>Teucrium japonicum</i>	○			
127			ナス	クコ		<i>Lycium chinense</i>		○	
128		アメリカイヌホオズキ			<i>Solanum ptychanthum</i>	○		○	○
129		ヒヨドリシヨウコ			<i>Solanum lyratum</i>				○
130		コマノハクサ	コキモ		<i>Limnophila indica</i>			○	○
131			キクモ		<i>Limnophila sessiliflora</i>			○	○
132			キタミソウ		<i>Limosella aquatica</i>		○		
133			ウリクサ		<i>Lindernia crustacea</i>				○
134			アメリカアゼナ		<i>Lindernia dubia</i> ssp. <i>Major</i>	○	○	○	○
135			アゼナ		<i>Lindernia procumbens</i>	○			○
136			ムラサキサキコケ		<i>Mazus miquelii</i> var. <i>miquelii</i> f. <i>miquelii</i>			○	
137			トキワハセ		<i>Mazus pumilus</i>	○		○	○
138			オオイスノフクリ		<i>Veronica persica</i>	○	○	○	○
139			キツネノマゴ	キツネノマゴ		<i>Justicia procumbens</i> var. <i>procumbens</i>	○	○	○
140		オオハコ			<i>Plantago asiatica</i>			○	
141		スイカスラ	スイカスラ		<i>Lonicera japonica</i>	○		○	○
142			ニワトコ		<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i>				○
143			カマズミ		<i>Viburnum dilatatum</i>				○
144		キク	フタクサ		<i>Ambrosia artemisiifolia</i>			○	
145			オオフタクサ		<i>Ambrosia trifida</i>			○	
146			ヨモギ		<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>	○	○	○	
147			ヒロハホウキギク		<i>Aster subulatus</i> var. <i>sandwicensis</i>		○		
148			アメリカセンダングサ		<i>Bidens frondosa</i>	○	○	○	
149			コセンダングサ		<i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	○	○	○	○
150			トキンソウ		<i>Centipeda minima</i>	○	○	○	○
151			オオアレチノギク		<i>Conyza sumatrensis</i>	○	○		○
152			コスモス		<i>Cosmos bipinnatus</i>				○
153			アメリカカタカサフロウ		<i>Eclipta alba</i>	○	○	○	○
154			ヒメジヨオン		<i>Erigeron annuus</i>	○		○	
155			ヒメムカシヨモギ		<i>Conyza canadensis</i>	○	○	○	
156			ハルシオン		<i>Erigeron philadelphicus</i>				○
157			ヒヨドリハナ		<i>Eupatorium chinense</i> var. <i>simplicifolium</i>	○			
158			ハキタメギク		<i>Galinsoga quadriradiata</i>	○		○	○
159	ハハコクサ			<i>Gnaphalium affine</i>				○	
160	ミスヒマワリ			<i>Gymnocoronis spilanthoides</i>		○			
161	キクイモ			<i>Helianthus tuberosus</i>	○		○		
162	オオジシバリ			<i>Ixeris japonica</i>		○			
163	カントウヨメナ			<i>Aster yomena</i> var. <i>dentatus</i>		○	○		
164	アキノケシ			<i>Lactuca indica</i>		○	○		
165	ホソバアキノケシ			<i>Lactuca indica</i> var. <i>laciniata</i> f. <i>indivisa</i>	○		○		
166	フキ			<i>Petasites japonicus</i>	○				
167	ノボロギク			<i>Senecio vulgaris</i>			○	○	
168	セイタカアワタチソウ			<i>Solidago altissima</i>	○	○	○	○	
169	オオアワタチソウ		<i>Solidago gigantea</i> ssp. <i>serotina</i>		○				
170	ハルノケシ		<i>Sonchus oleraceus</i>	○		○			
171	セイヨウタンポポ		<i>Taraxacum officinale</i>	○	○	○			
172	オオオナモミ		<i>Xanthium occidentale</i>	○		○			
173	オニタビラコ		<i>Youngia japonica</i>				○		
174	単子葉植物	オモダカ	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>				○	
175		ユリ	ニラ		<i>Allium tuberosum</i>	○	○		
176			ヤブラン		<i>Liriope muscari</i>	○			
177			シヤノヒゲ		<i>Ophiopogon japonicus</i>	○	○	○	○
178		ヒカンバナ	ヒカンバナ		<i>Lycoris radiata</i>	○	○	○	
179		ヤマノイモ	ヤマノイモ		<i>Dioscorea japonica</i>			○	



表 2-13 現地調査で確認された植物一覧 (4)

No.	分類	科名	和名	学名	現地調査 (H24)			
					切り所	星川	長善沼	小崎沼
180	単子葉植物	ミズアオイ	ホテアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	○			
181			コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>			○	○
182		イクサ	イクサ	<i>Juncus decipiens</i>		○		
183		ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	○	○	○	○
184			イホクサ	<i>Murdannia keisak</i>	○	○	○	○
185		イネ	アオカモシグサ	<i>Elymus racemifer</i>			○	
186			イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	○			○
187			シユスダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>			○	
188			キョウキシハ	<i>Cynodon dactylon</i>	○		○	
189			メシハ	<i>Digitaria ciliaris</i>	○	○	○	○
190			イヌヒエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>crus-galli</i>	○	○	○	○
191			ケイヌヒエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>aristata</i>	○	○	○	
192			オヒシハ	<i>Eleusine indica</i>	○	○		○
193			カゼグサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>				○
194			ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>	○	○	○	○
195			アセカヤ	<i>Leptochloa chinensis</i>	○	○	○	○
196			オキ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	○	○	○	
197			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○			
198			ケチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>	○			○
199			ヌカキ	<i>Panicum bisulcatum</i>		○	○	
200			シマスメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i>	○	○		
201			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>				○
202			チカラシハ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>		○		
203			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	○	○	○	○
204			アズマネザサ	<i>Pleioblastus chino</i>	○	○		○
205			アキノエノコクサ	<i>Setaria faberi</i>	○	○	○	○
206			キンエノコ	<i>Setaria pumila</i>	○		○	
207			エノコクサ	<i>Setaria viridis</i>	○	○	○	
208		セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i>		○			
209		マコモ	<i>Zizania latifolia</i>			○		
210		ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	○	○	○	○
211		サトイモ	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>	○			
212		ウキクサ	アウキクサ	<i>Lemna aoukikusa</i>	○	○	○	○
213			ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i>	○	○	○	○
214		カヤツリグサ	ミコシカヤ	<i>Carex neurocarpa</i>		○		
215			チャカヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i>			○	
216			ヒメク	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>		○		
217			タマカヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>	○			○
218			ヒナカヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>		○		
219			アセカヤツリ	<i>Cyperus flavidus</i>		○		
220			ココメカヤツリ	<i>Cyperus iria</i>	○	○	○	○
221			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>		○		○
222			マツハイ	<i>Eleocharis acicularis</i> var. <i>longiseta</i>		○		
223			クログライ	<i>Eleocharis kuroguwai</i>				○
224			テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i> var. <i>tentsuki</i>				○
225			ヒテリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i>	○	○	○	○
合計		77 科	225 種		110 種	104 種	116 種	120 種

表 2-14 現地調査で確認された希少植物一覧

No.	科名	和名	選定基準						現地調査 (H24)			
			I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小埼沼
1	ミズワラビ	ミズワラビ				NT			○	○	○	○
2	タデ	コギシギシ			VU	VU			○	○		
3	アブラナ	コイヌガラシ			NT	NT			○	○	○	○
4	ミソハギ	ヒメミソハギ				NT				○		
5		ミズマツバ			VU	VU				○	○	
6	ゴマノハグサ	コキクモ			VU						○	○
7		キクモ				NT					○	○
8		キタミソウ			VU	EN				○		
計	5科	8種	0種	0種	5種	7種	0種	0種	3種	6種	5種	4種

表 2-15 希少植物確認状況

調査地点	確認位置	和名	個体数	確認状況
切り所	1	ミズワラビ	50 以上	調査範囲外北側の水田で確認
	2	ミズワラビ	1,000 以上	調査範囲外東側の水田で確認
	3	ミズワラビ	多数	調査範囲外北側の土水路で確認
	4	コギシギシ	2	調査範囲外南側の水路沿いで確認
	5	コイヌガラシ	7	調査範囲内東側の池周りで確認
	6	コイヌガラシ	5	調査範囲外北側の水田で確認
	7	コイヌガラシ	200 以上	調査範囲外東側の水田で確認
	8	コイヌガラシ	2	調査範囲外の北側の土水路で確認
星川	1	ミズワラビ	群生	調査範囲外北側の水路沿いで確認
	2	ミズワラビ	1	調査範囲外西側の星川沿いで確認
	3	ミズワラビ	100 以上	調査範囲外北側の水路沿いで確認
	4	コイヌガラシ	7	調査範囲外北側の道路沿いで確認
	5	コギシギシ	多数	調査範囲内西側で確認
	6	ヒメミソハギ	3	調査範囲外北側の水路沿いで確認
	7	ミズマツバ	50 以上	調査範囲外北側の水路沿いで確認
	8	キタミソウ	多数	調査範囲内南側河川敷で確認
長善沼	1	ミズワラビ	多数	調査範囲境の柵沿いで確認
	2	ミズワラビ	10 以上	調査範囲境の柵沿いで確認
	3	ミズワラビ	1	調査範囲境の柵沿いで確認
	4	ミズワラビ	10	調査範囲外北側の水田で確認
	5	ミズワラビ	100 以上	調査範囲境の柵沿いで確認
	6	コイヌガラシ	3	調査範囲外西側の道路沿いで確認
	7	コイヌガラシ	8	調査範囲境の柵沿いで確認
	8	コイヌガラシ	11	調査範囲境の柵沿いで確認
	9	ミズマツバ	1	調査範囲外北側の水田で確認
	10	コキクモ	50 以上	調査範囲外北側の水田で確認
	11	キクモ	3	調査範囲外北側の水田で確認
小埼沼	1	ミズワラビ	50 以上	調査範囲内の道路沿いで確認
	2	ミズワラビ	1	調査範囲境の水田で確認
	3	ミズワラビ	350 以上	調査範囲内中央の社寺林で確認
	4	ミズワラビ	26	調査範囲内南側の道路沿いで確認
	5	ミズワラビ	200 以上	調査範囲内北側の水田で確認
	6	ミズワラビ	10 以上	調査範囲外北側の水田で確認
	7	ミズワラビ	1	調査範囲外北側の水田で確認
	8	ミズワラビ	100 以上	調査範囲境の水田で確認
	9	コイヌガラシ	100 以上	調査範囲境の水田で確認
	10	コイヌガラシ	2	調査範囲境の水田で確認
	11	コイヌガラシ	1	調査範囲境の水田で確認
	12	コイヌガラシ	2	調査範囲外北側の水田で確認
	13	コキクモ	1	調査範囲内南側の水路で確認
	14	キクモ	2	調査範囲境の水田で確認

注)「確認位置」は希少植物確認位置図の番号に対応している。

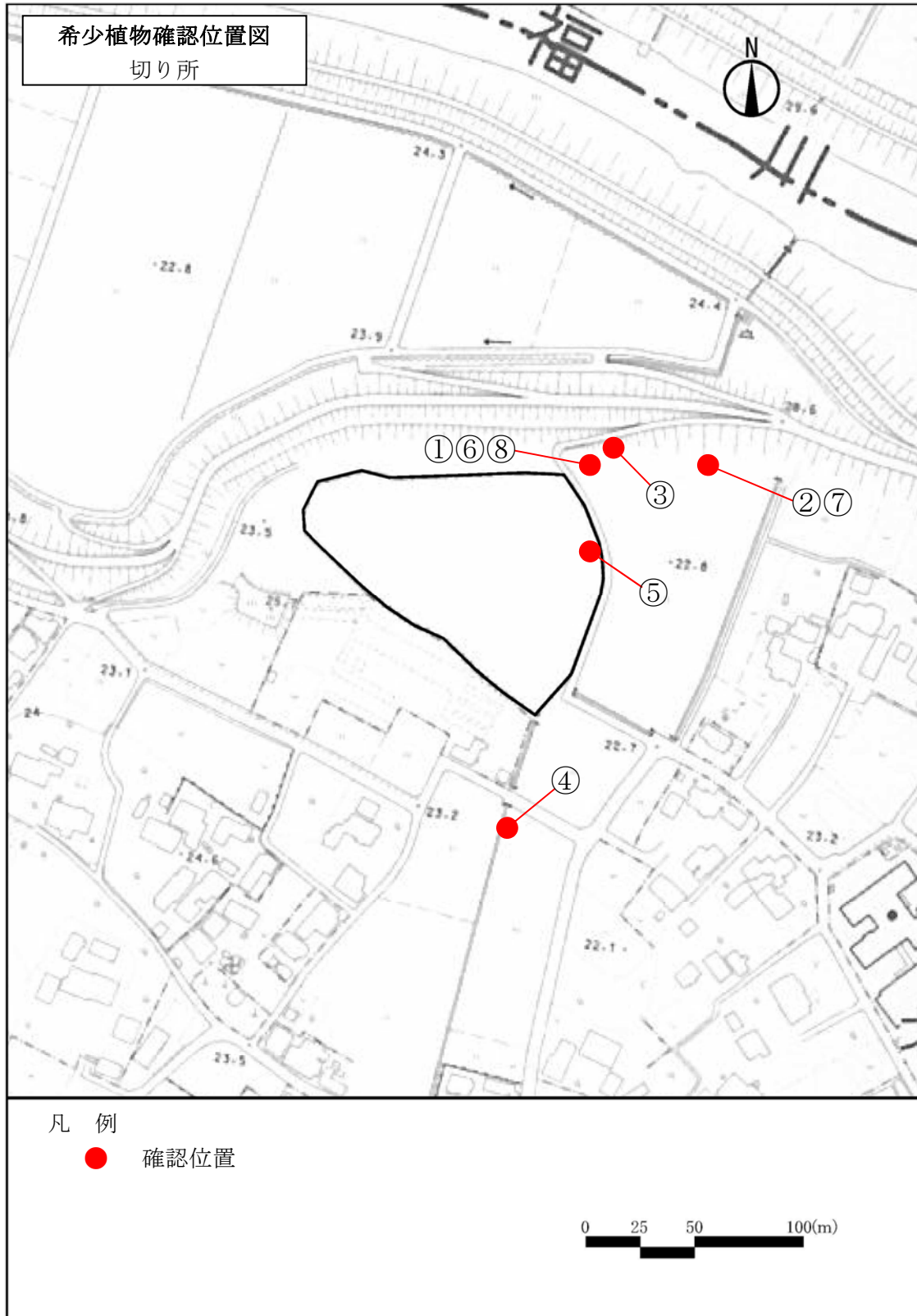


図 2-1 希少植物確認位置図

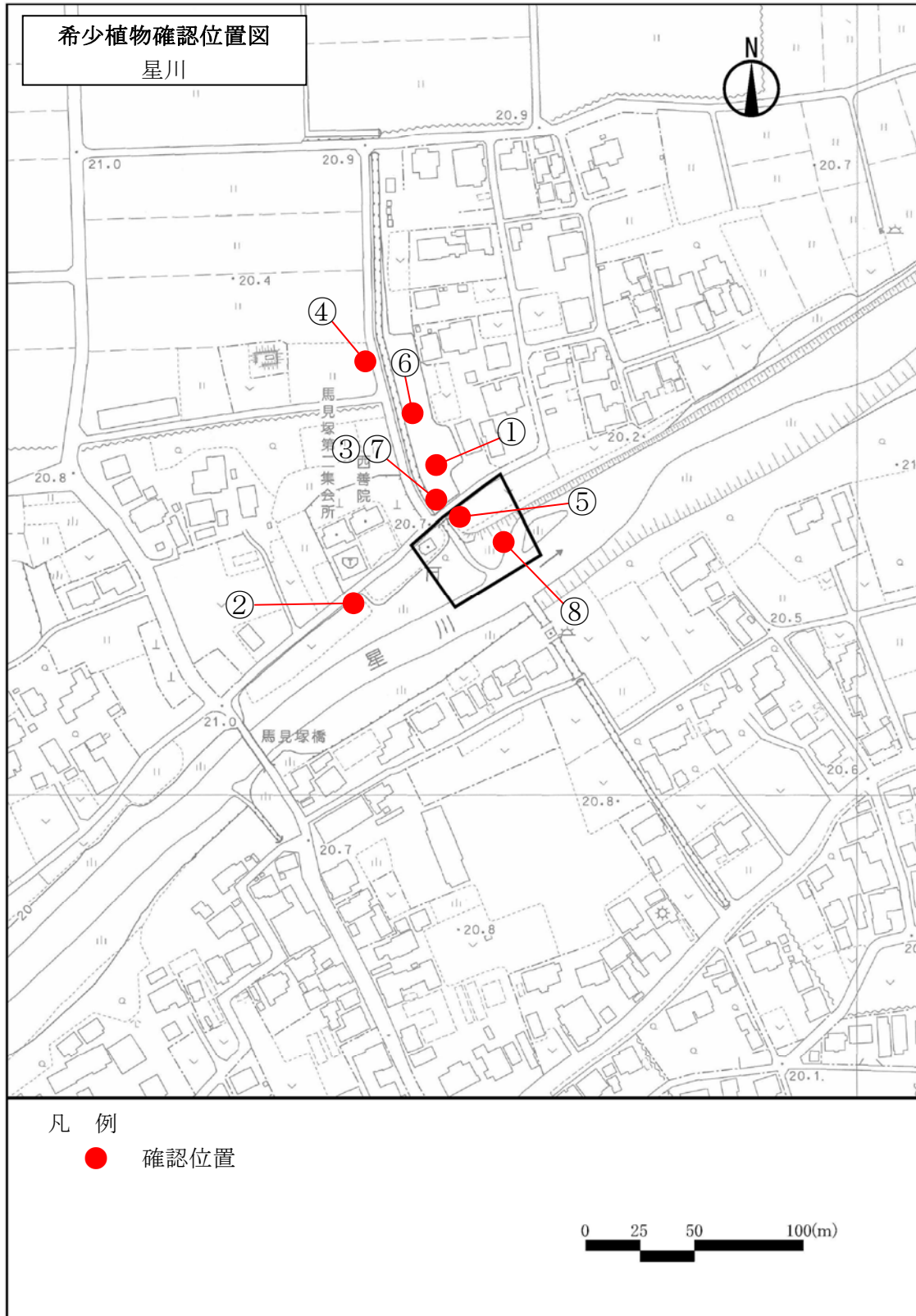


図 2-2 希少植物確認位置図

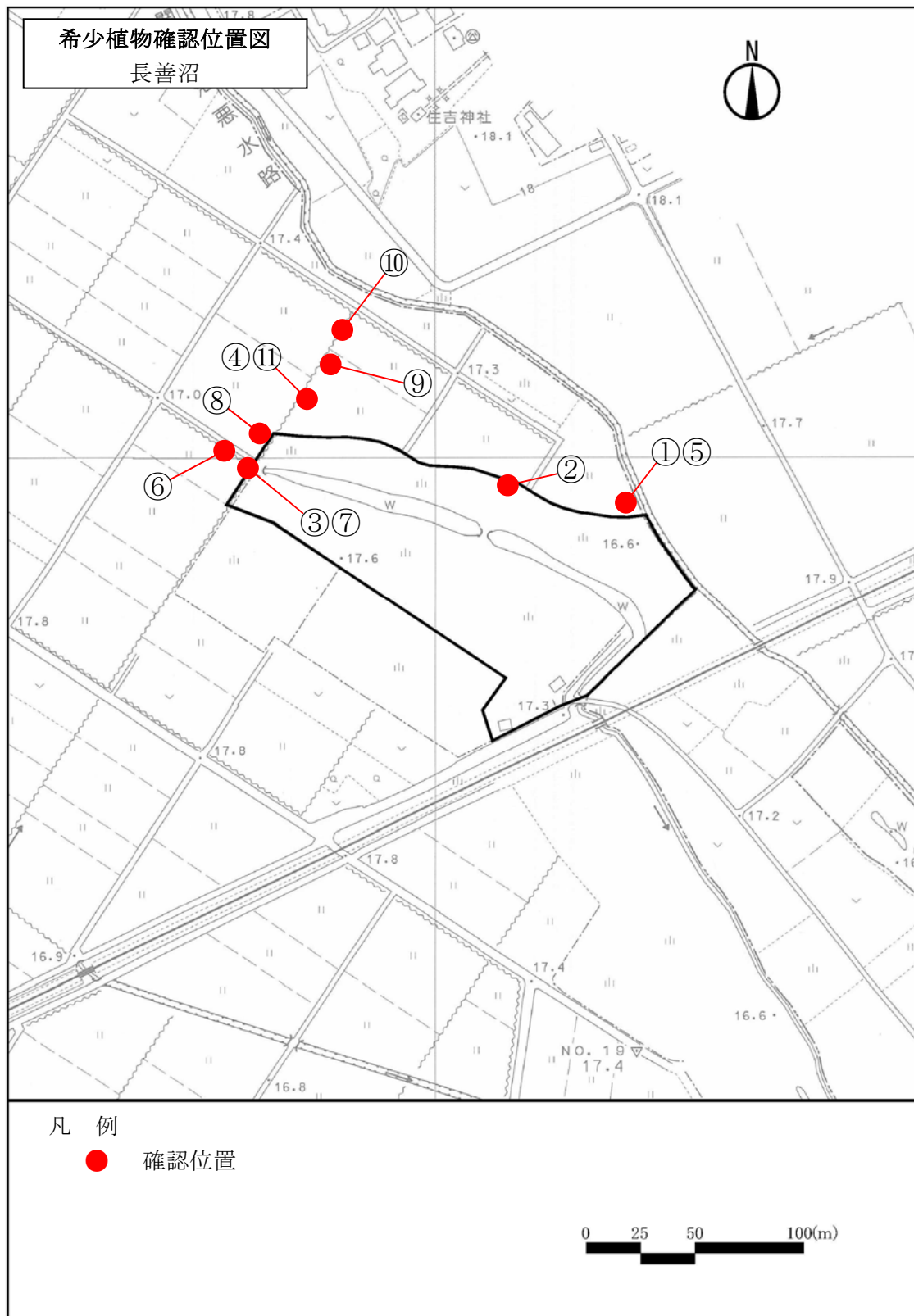


図 2-3 希少植物確認位置図

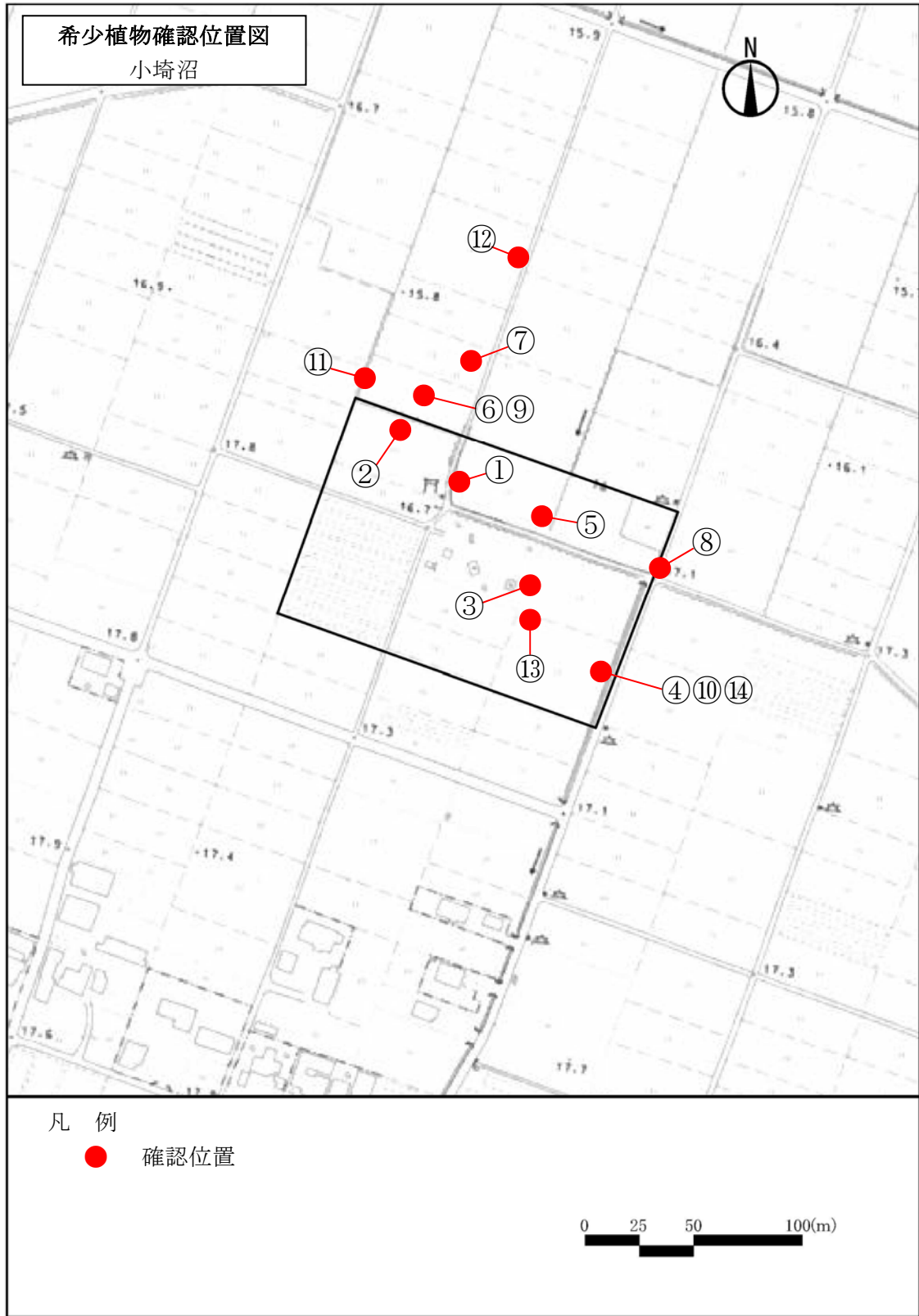


図 2-4 希少植物確認位置図

(2) 哺乳類

現地調査の結果、2目5科6種の哺乳類を確認した。この中で、1目2科3種の哺乳類が希少種であった。確認された希少種は、水田などの耕作地周辺や河川・水路などの水辺環境で生息が確認されている。

現地調査で確認された哺乳類一覧を表2-16、現地調査で確認された希少哺乳類一覧を表2-17に示し、哺乳類確認状況及び確認位置を表2-18及び図2-5～8に示す。

表 2-16 現地調査で確認された哺乳類一覧

No.	目名	科名	和名	学名	現地調査 (H24)			
					切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	モグラ	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera wogura</i>			○	○
2	ネコ	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>		○		
3		イヌ	ホンドタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>		○		○
4			ホンドキツネ	<i>Vulpes vulpes</i>			○	
5		イタチ	ホンドイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	○		○	○
6		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma laruata</i>		○		
計	2目	5科	6種		1種	3種	3種	3種

表 2-17 現地調査で確認された希少哺乳類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査 (H24)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	ネコ	イヌ	ホンドタヌキ				RT		調		○		○
2			ホンドキツネ				RT					○	
3		イタチ	ホンドイタチ				RT			○		○	○
計	1目	2科	3種	0種	0種	0種	3種	0種	1種	1種	1種	2種	2種

表 2-18 哺乳類確認状況

調査地点	確認位置	和名	確認内容	個体数	確認状況
切り所	1	ホンドイタチ	糞	—	調査範囲外東側の水路沿いで確認
	2	アズマモグラ	塚	—	—
星川	1	ホンドタヌキ	足跡	—	調査範囲内西側の神社付近で確認
	2	ハクビシン	糞	—	—
	3	アライグマ	足跡	—	—
長善沼	1	アズマモグラ	塚	—	—
	2	アズマモグラ	塚	—	—
	3	ホンドイタチ	足跡	—	調査範囲外北側の水路脇で確認
	4	ホンドキツネ	—	—	調査範囲内東側に設置したセンサーカメラで確認
小崎沼	1	アズマモグラ	塚	—	—
	2	アズマモグラ	塚	—	—
	3	ホンドタヌキ	糞	—	調査範囲外北側の道路脇で確認
	4	ホンドイタチ	糞	—	調査範囲外北側の道路脇で確認

注 1) 「確認位置」は哺乳類確認位置図の番号に対応している。

注 2) 「確認状況」は希少種についてのみ記載した。



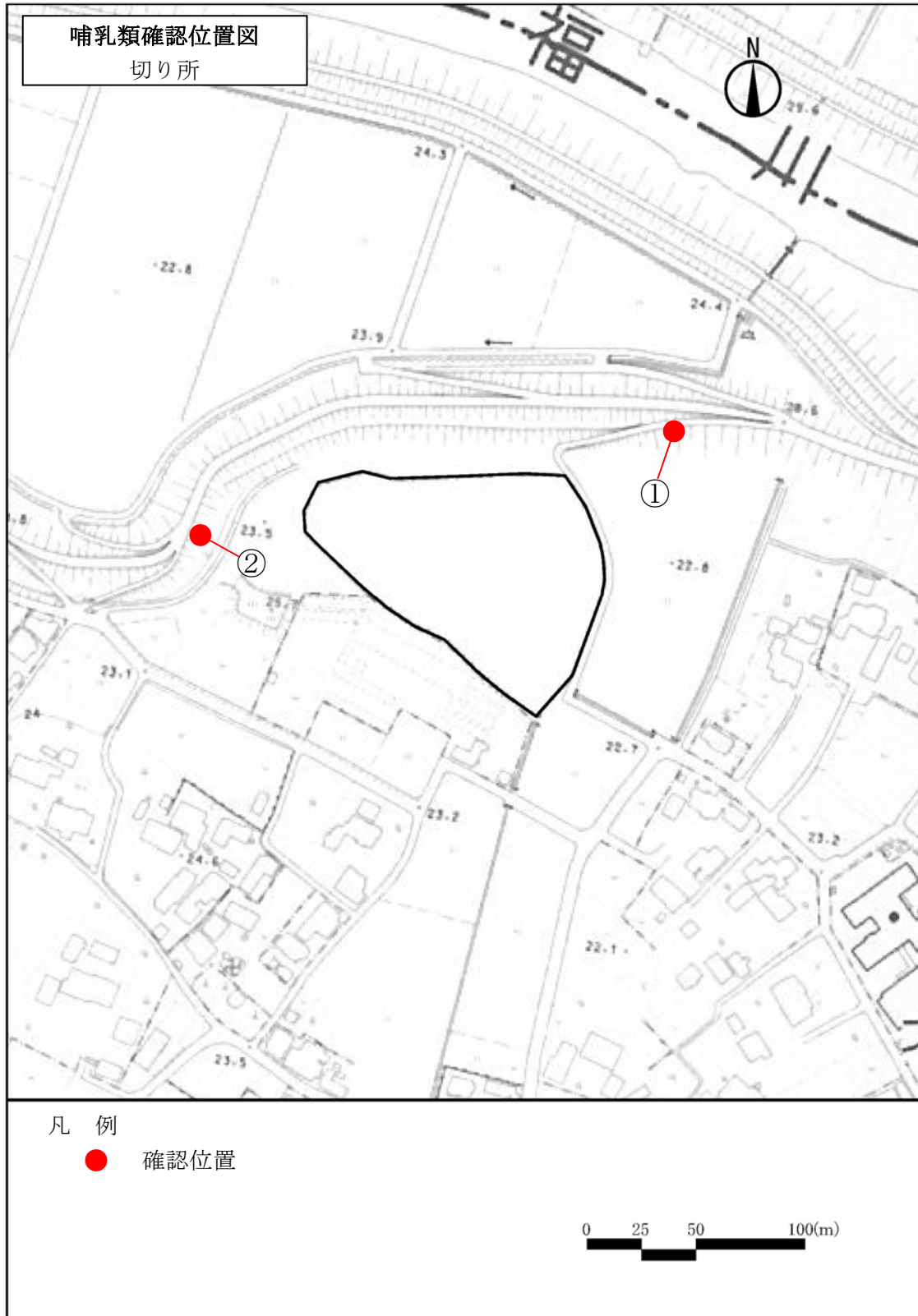


図 2-5 哺乳類確認位置図

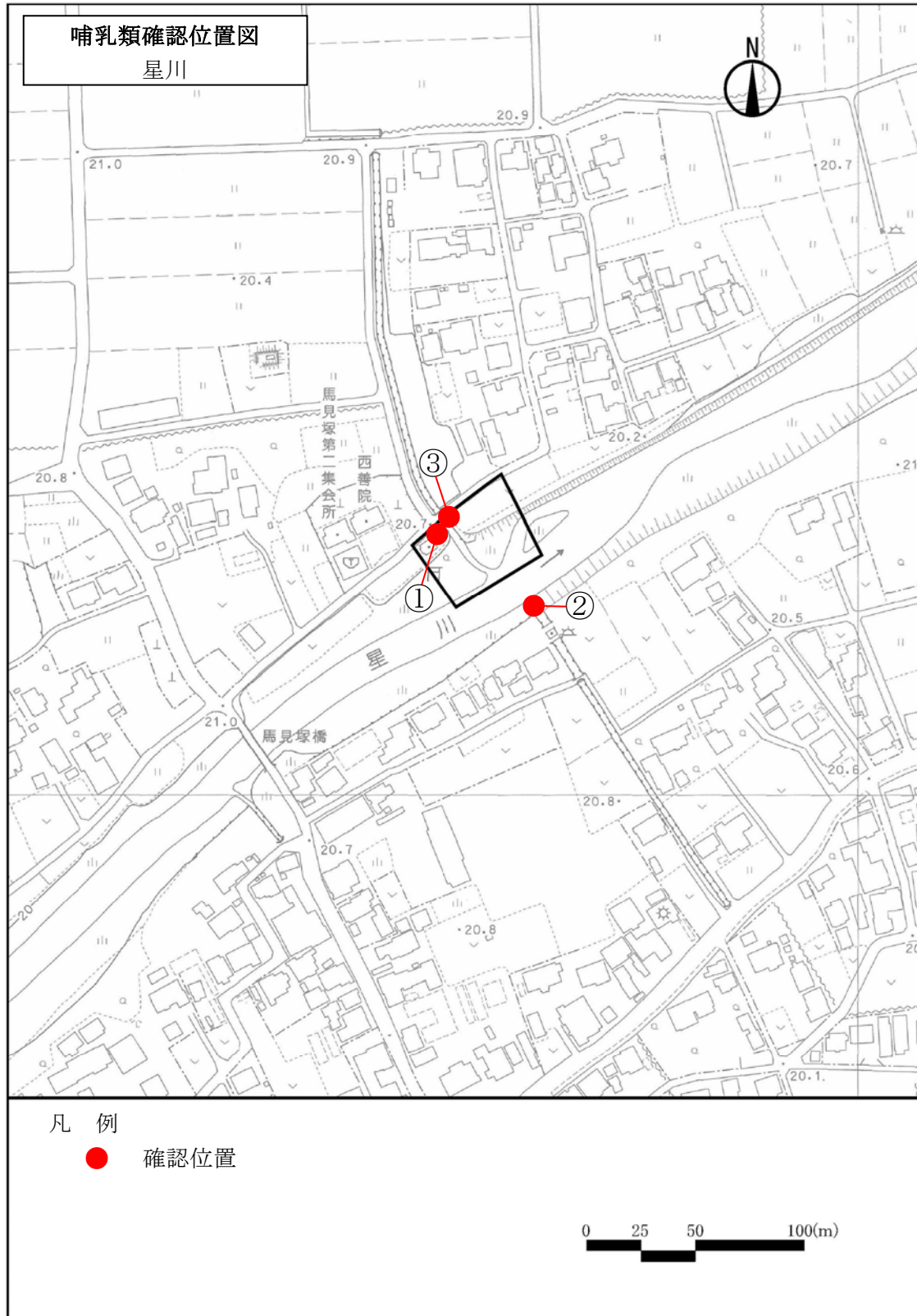


図 2-6 哺乳類確認位置図

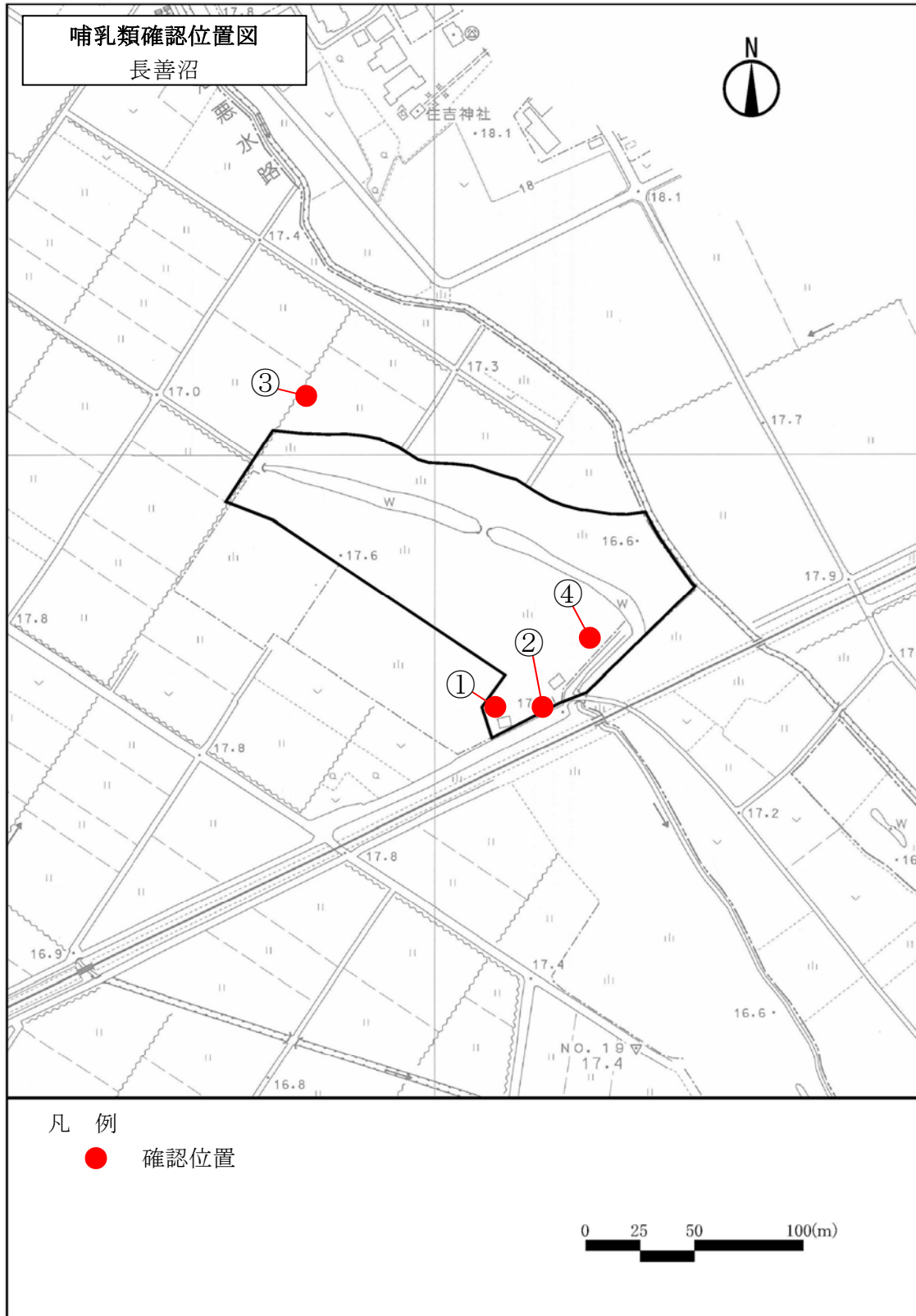


図 2-7 哺乳類確認位置図

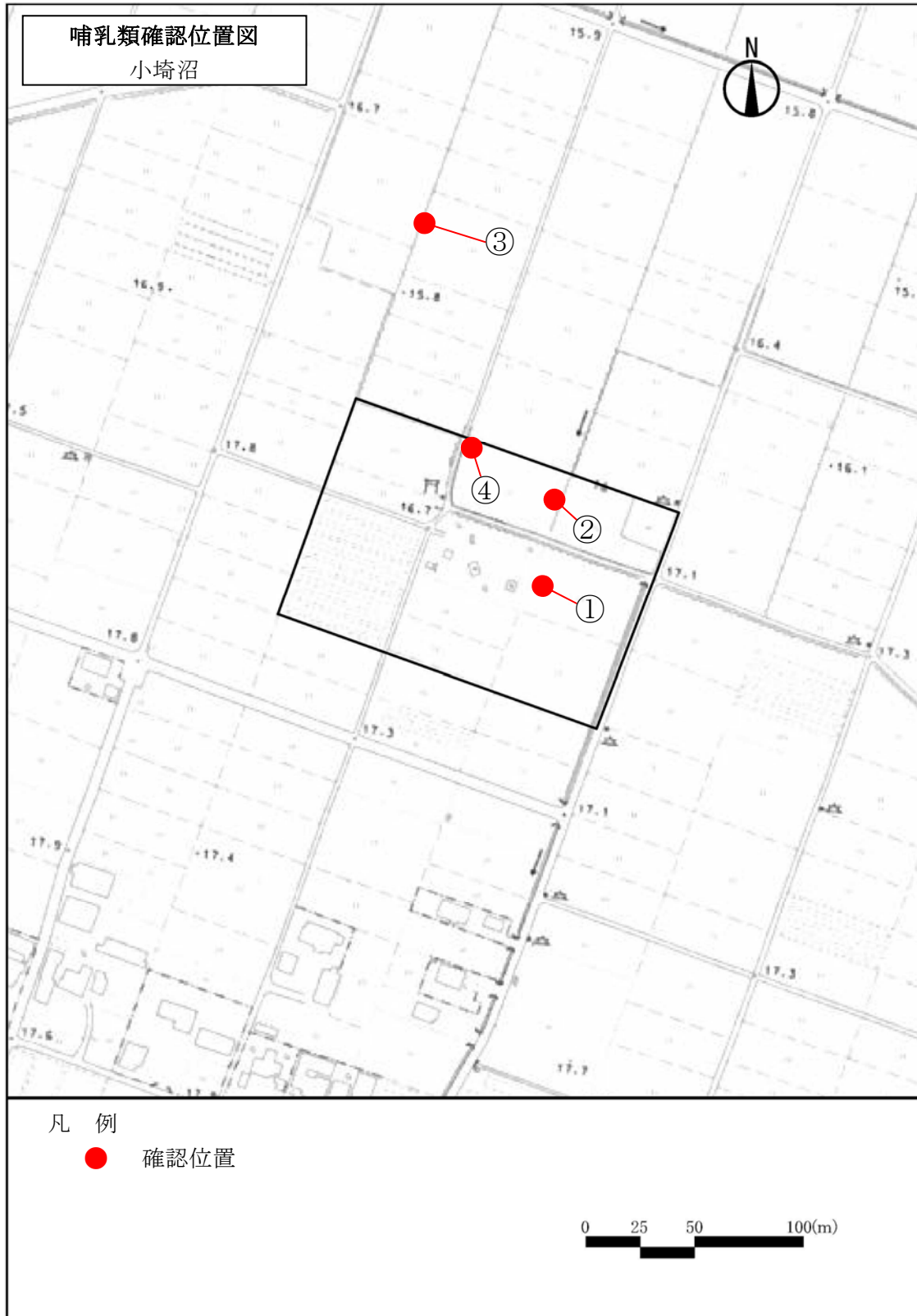


図 2-8 哺乳類確認位置図

(3) 鳥類

現地調査の結果、12目25科38種の鳥類を確認した。この中で、5目6科7種の鳥類が希少種であった。確認された猛禽類以外の希少種のほとんどは、水辺が主な生息地となっている。

現地調査で確認された鳥類一覧を表2-19、現地調査で確認された希少鳥類一覧を表2-20に示し、希少鳥類確認状況及び確認位置を表2-21及び図2-9～12に示す。

表2-19 現地調査で確認された鳥類一覧

No.	目名	科名	和名	学名	現地調査（H24）				
					切り所	星川	長善沼	小埜沼	
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Podiceps ruficollis</i>		○			
2	ペリカン	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○				
3	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>			○		
4			ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	○	○	○	○	
5			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>					○
6			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○	○	○	○
7	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>	○	○	○		
8			コガモ	<i>Anas crecca</i>	○				
9	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○		○	
10			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>				○	
11		ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>				○	
12	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	○				
13	ツル	クイナ	バン	<i>Gallinula chloropus</i>			○		
14			オオバン	<i>Fulica atra</i>	○		○		
15	チドリ	チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	○	○			
16	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	○	○	○	○	
17	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○	○		
18	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>		○			
19	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○		○	○	
20			ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>		○		○
21				ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○	○	○
22		セキレイ	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>		○	○	
23				ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	○	○	○	○
24				セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	○	○	○	○
25		ヒヨドリ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○	○	○
26		モズ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	○	○	○	○
27		ツグミ	ジョウビタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>		○		
28		ウグイス	ウグイス	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus</i>		○	○	
29				セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	○		○	○
30		シジュウカラ	シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus major</i>	○	○		○
31		メジロ	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonica</i>	○			○
32		アトリ	カワラヒワ	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>	○	○	○	○
33		ハタオリドリ	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○	○
34		ムクドリ	ムクドリ	コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>		○		
35	ムクドリ			<i>Sturnus cineraceus</i>	○			○	
36	カラス	カラス	オナガ	<i>Cyanopica cyana</i>		○		○	
37			ハシボンガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○	○	○	
38			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○	
計	12目	25科	38種		25種	25種	21種	23種	

表 2-20 現地調査で確認された希少鳥類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査 (H24)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小埼沼
1	コウノトリ	サギ	チュウサギ			NT	VU						○
2	タカ	タカ	ノスリ				NT						○
3		ハヤブサ	チョウゲンボウ				NT						○
4	ツル	クイナ	バン				NT					○	
5			オオバン				CR		○		○		
6	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				LP			○	○	○	
7	スズメ	ムクドリ	コムクドリ				DD				○		
計	5 目	6 科	7 種	0 種	0 種	1 種	7 種	0 種	0 種	2 種	2 種	3 種	3 種

表 2-21 希少鳥類確認状況

調査地点	確認位置	和名	個体数	確認状況
切り所	1	オオバン	1	調査範囲外北側の福川で確認
	2	オオバン	1	調査範囲外北側の福川で確認
	3	オオバン	1	調査範囲外北側の福川で確認
	4	カワセミ	1	調査範囲外東側で飛翔する個体を確認
星川	1	コムクドリ	1	調査範囲内西側の神社で確認
	2	カワセミ	1	星川沿いを飛翔する個体を確認
長善沼	1	バン	1	調査範囲中央の溜池で確認
	2	オオバン	1	調査範囲中央の溜池で確認
	3	カワセミ	1	長善沼上空を北へ飛翔する個体を確認
	4	カワセミ	1	調査範囲中央の水路沿いを飛翔する個体を確認
小埼沼	1	チュウサギ	多数	調査範囲外西側の水田でチュウサギとダイサギの群れを確認
	2	ノスリ	1	調査範囲外北側の水田上空でホバリングする個体を確認
	3	ノスリ	1	調査範囲外東側の水田上空でホバリングする個体を確認
	4	チョウゲンボウ	1	調査範囲外北側の水田上空で飛翔する個体を確認

注) 「確認位置」は希少鳥類確認位置図の番号に対応している。



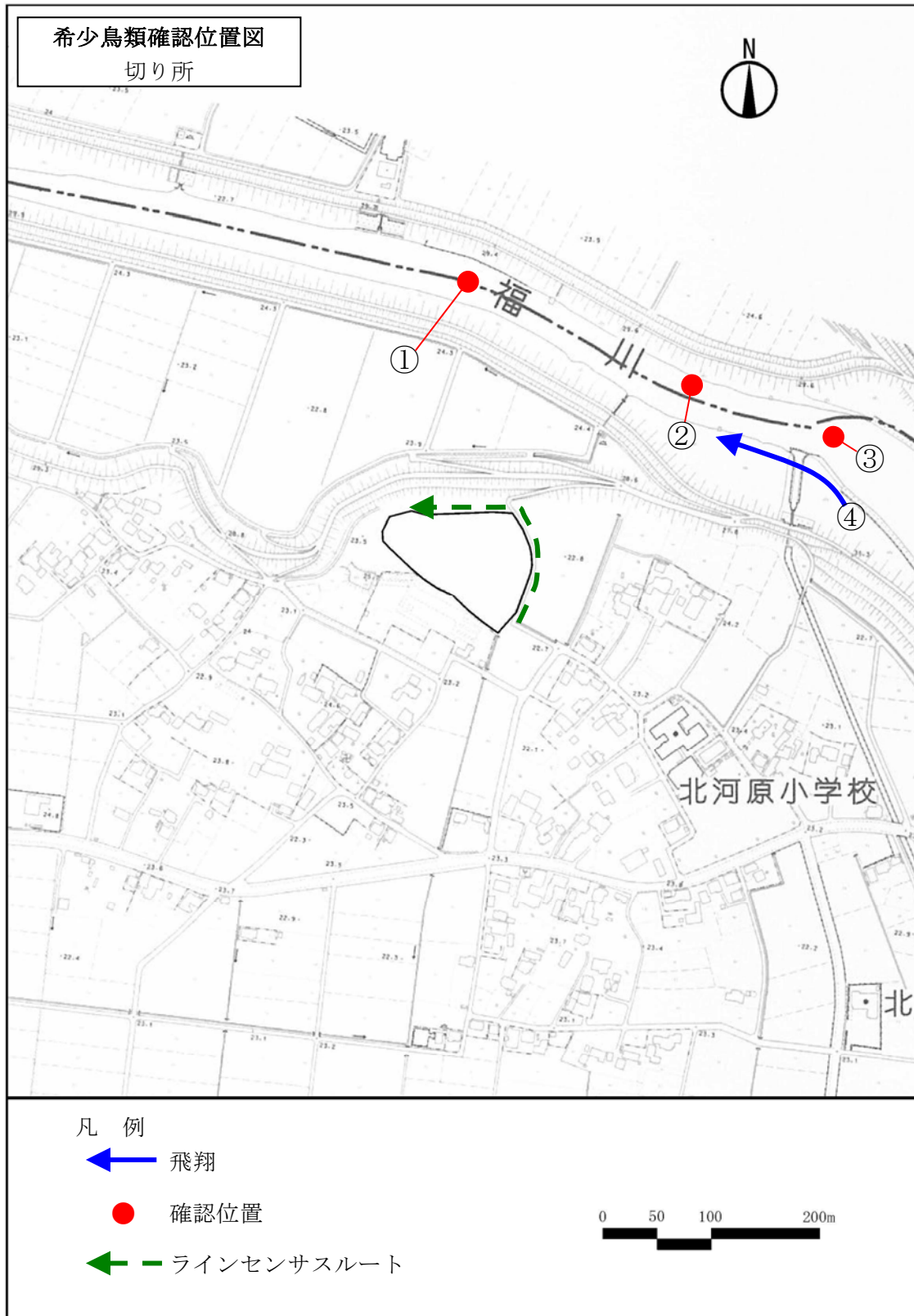


図 2-9 希少鳥類確認位置図

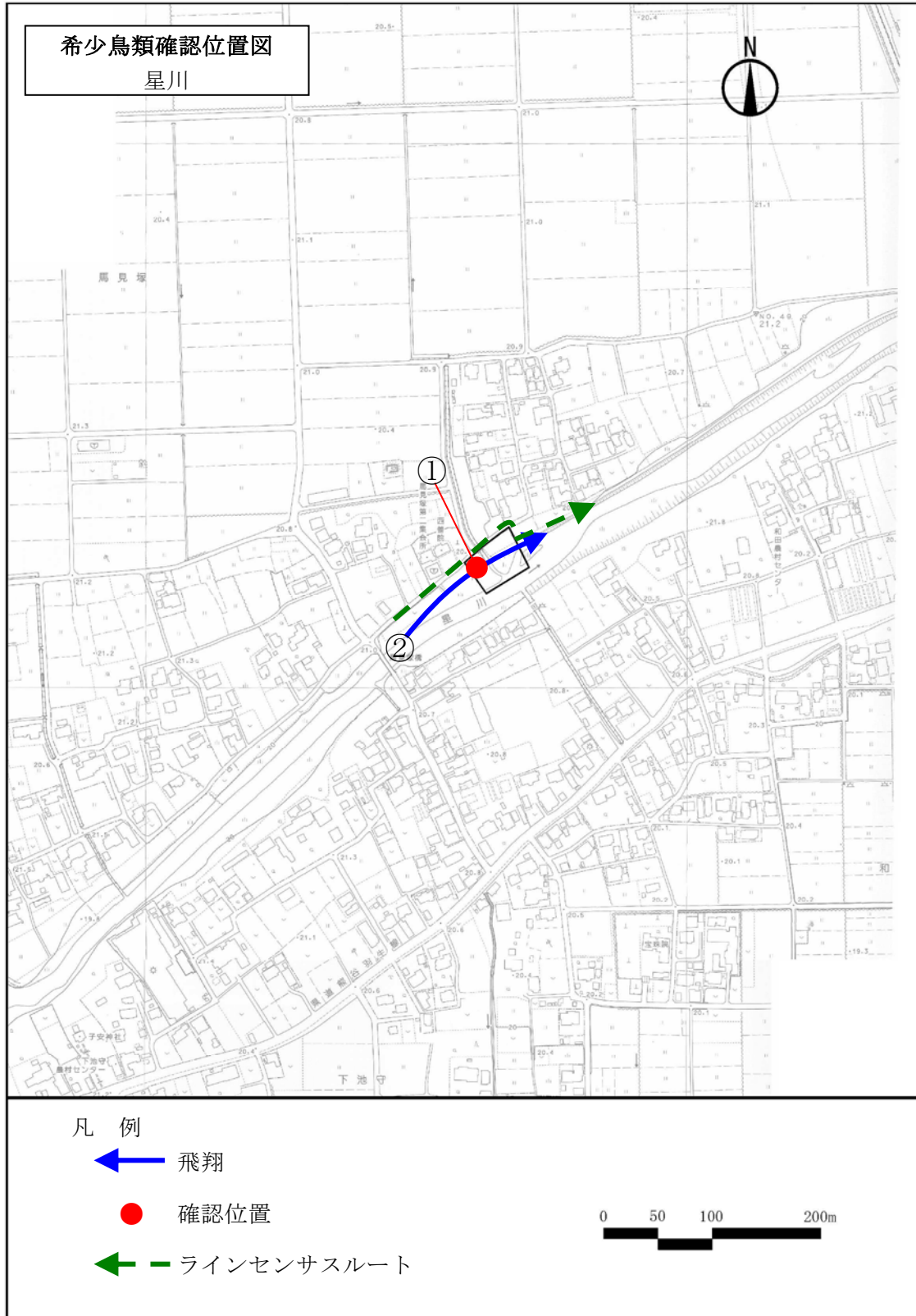


図 2-10 希少鳥類確認位置図



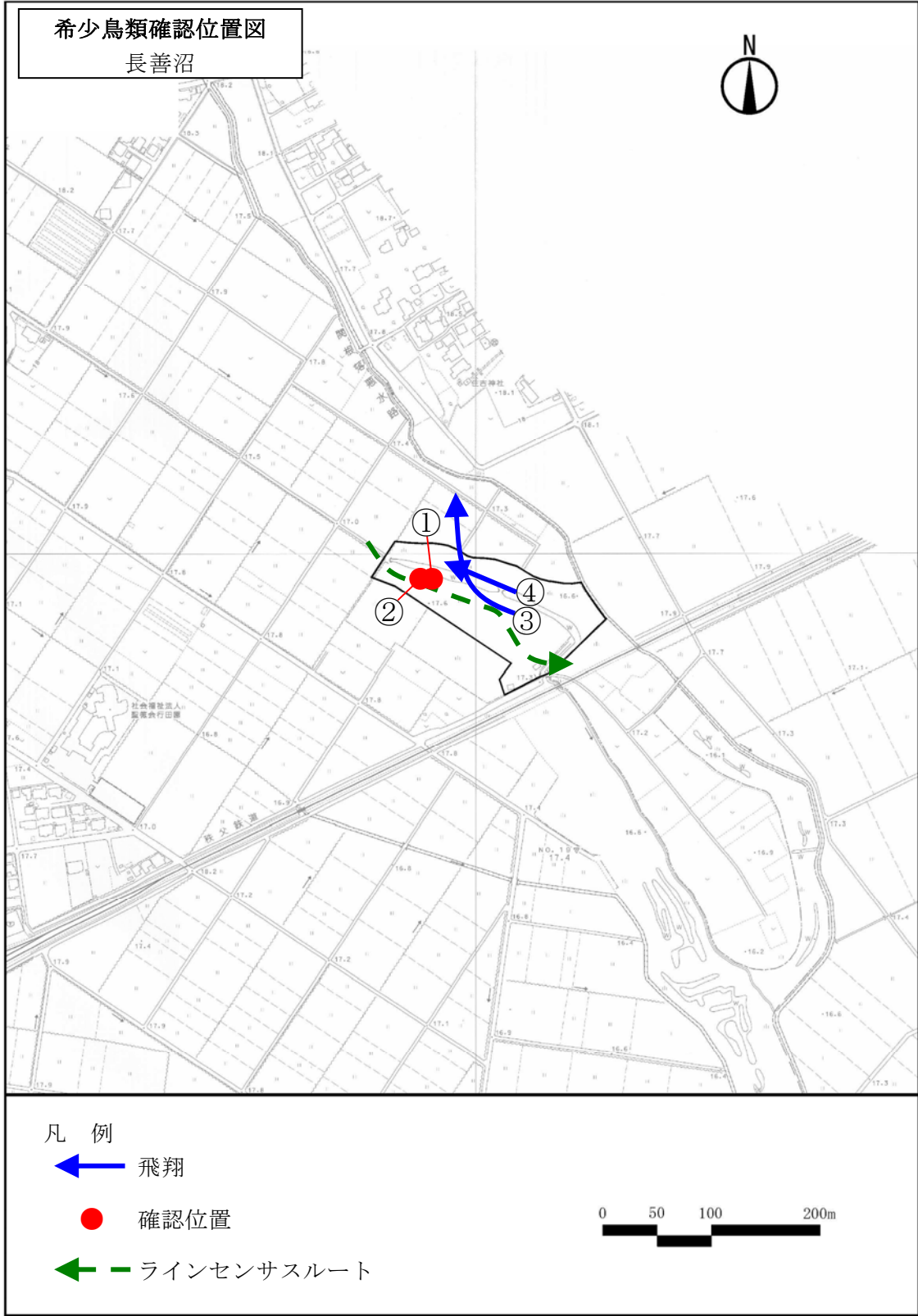


図 2-11 希少鳥類確認位置図

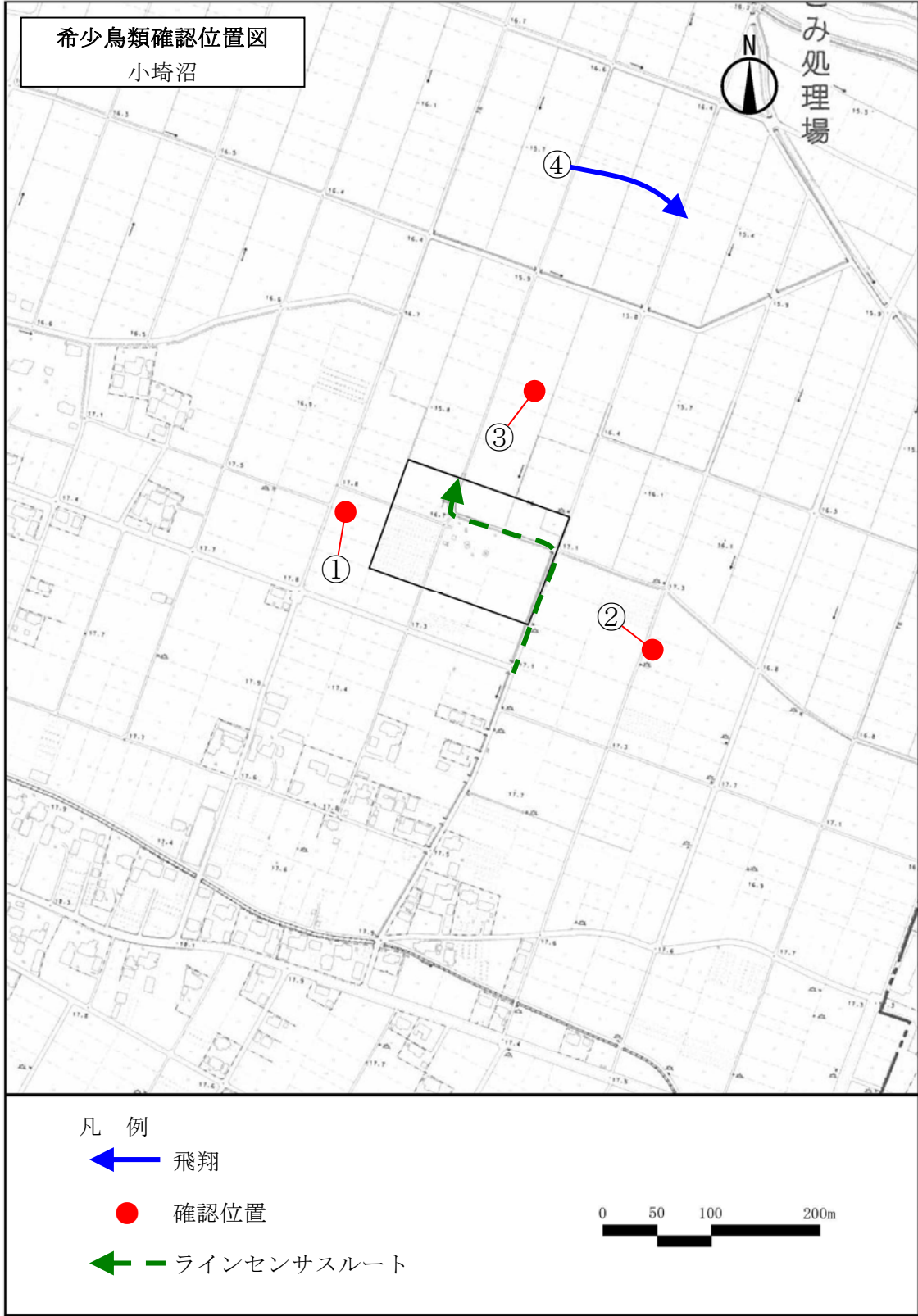


図 2-12 希少鳥類確認位置図

(4) 両生類

現地調査の結果、1目2科4種の両生類を確認した。この中で、1目1科1種の両生類が希少種であった。確認された希少種は、水田及び周辺水路において生息が確認されている。

現地調査で確認された両生類一覧を表 2-22、現地調査で確認された希少両生類一覧を表 2-23 に示し、両生類確認状況及び確認位置を表 2-24 及び図 2-13~16 に示す。

表 2-22 現地調査で確認された両生類一覧

No.	目名	科名	和名	学名	現地調査 (H24)			
					切り所	星川	長善沼	小埼沼
1	カエル	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	○	○	○	○
2		アカガエル	トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>		○		○
3			ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	○	○	○	○
4			ヌマガエル	<i>Rana limnocharis limnocharis</i>	○	○	○	○
計	1目	2科	4種		3種	4種	3種	4種

表 2-23 現地調査で確認された希少両生類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査 (H24)			
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小埼沼
1	カエル	アカガエル	トウキョウダルマガエル			NT	NT1				○		○
計	1目	1科	1種	0種	0種	1種	1種	0種	0種	0種	1種	0種	1種

表 2-24 両生類確認状況 (1)

調査地点	確認位置	和名	確認内容	個体数	確認状況
切り所	1	ヌマガエル	目視	3	—
	2	ヌマガエル	目視	1	—
	3	ヌマガエル	目視	2	—
	4	ヌマガエル	目視	1	—
	5	ヌマガエル	目視	3	—
	6	ヌマガエル	目視	多数	—
	7	ニホンアマガエル	鳴声	1	—
	8	ニホンアマガエル	目視	1	—
	9	ウシガエル	鳴声	1	—
	10	ウシガエル	鳴声	1	—

表 2-24 両生類確認状況 (2)

調査地点	確認位置	和名	確認内容	個体数	確認状況
星川	1	ヌマガエル	目視	1	—
	2	ヌマガエル	目視	多数	—
	3	ヌマガエル	目視	多数	—
	4	ヌマガエル	目視	1	—
	5	ヌマガエル	目視	多数	—
	6	ニホンアマガエル	目視	3	—
	7	ニホンアマガエル	目視	2	—
	8	ニホンアマガエル	目視	1	—
	9	トウキョウダルマガエル	目視	1	調査範囲外北側の水路内で成体を確認
	10	ウシガエル	目視	1	—
長善沼	1	ニホンアマガエル	目視	1	—
	2	ニホンアマガエル	鳴声	1	—
	3	ニホンアマガエル	目視	1	—
	4	ニホンアマガエル	鳴声	1	—
	5	ニホンアマガエル	目視	1	—
	6	ニホンアマガエル	目視	2	—
	7	ニホンアマガエル	目視	1	—
	8	ニホンアマガエル	目視	1	—
	9	ニホンアマガエル	目視	7	—
	10	ニホンアマガエル	目視	1	—
	11	ヌマガエル	目視	多数	—
	12	ヌマガエル	目視	1	—
	13	ヌマガエル	目視	1	—
	14	ヌマガエル	目視	1	—
	15	ヌマガエル	目視	1	—
	16	ヌマガエル	目視	多数	—
	17	ウシガエル	目視	多数	—
小崎沼	1	トウキョウダルマガエル	目視	9	調査範囲外北側の水田で確認
	2	トウキョウダルマガエル	目視	6	調査範囲内北側の水田で確認
	3	トウキョウダルマガエル	目視	2	調査範囲内北側の水田で確認
	4	トウキョウダルマガエル	目視	11	調査範囲内北側の水田で確認
	5	トウキョウダルマガエル	目視	5	調査範囲内南側の水田で確認
	6	トウキョウダルマガエル	目視	4	調査範囲内社寺林で確認
	7	トウキョウダルマガエル	目視	1	調査範囲内社寺林で確認
	8	トウキョウダルマガエル	目視	多数	調査範囲内東側の水田で確認
	9	トウキョウダルマガエル	目視	3	調査範囲外西側の水田で確認
	10	トウキョウダルマガエル	目視	3	調査範囲内北側の水田で確認
	11	トウキョウダルマガエル	目視	1	調査範囲内北側の水田で確認
	12	トウキョウダルマガエル	目視	3	調査範囲内北側の水田で確認
	13	トウキョウダルマガエル	目視	3	調査範囲内社寺林で確認
	14	トウキョウダルマガエル	目視	1	調査範囲内東側の水田で確認
	15	ニホンアマガエル	鳴声	1	—
	16	ニホンアマガエル	鳴声	1	—
	17	ニホンアマガエル	目視	1	—
	18	ニホンアマガエル	目視	1	—
	19	ニホンアマガエル	目視	1	—
	20	ヌマガエル	目視	1	—
	21	ウシガエル	目視	1	—

注 1) 「確認位置」は両生類確認位置図の番号に対応している。

注 2) 「確認状況」は希少種についてのみ記載した。

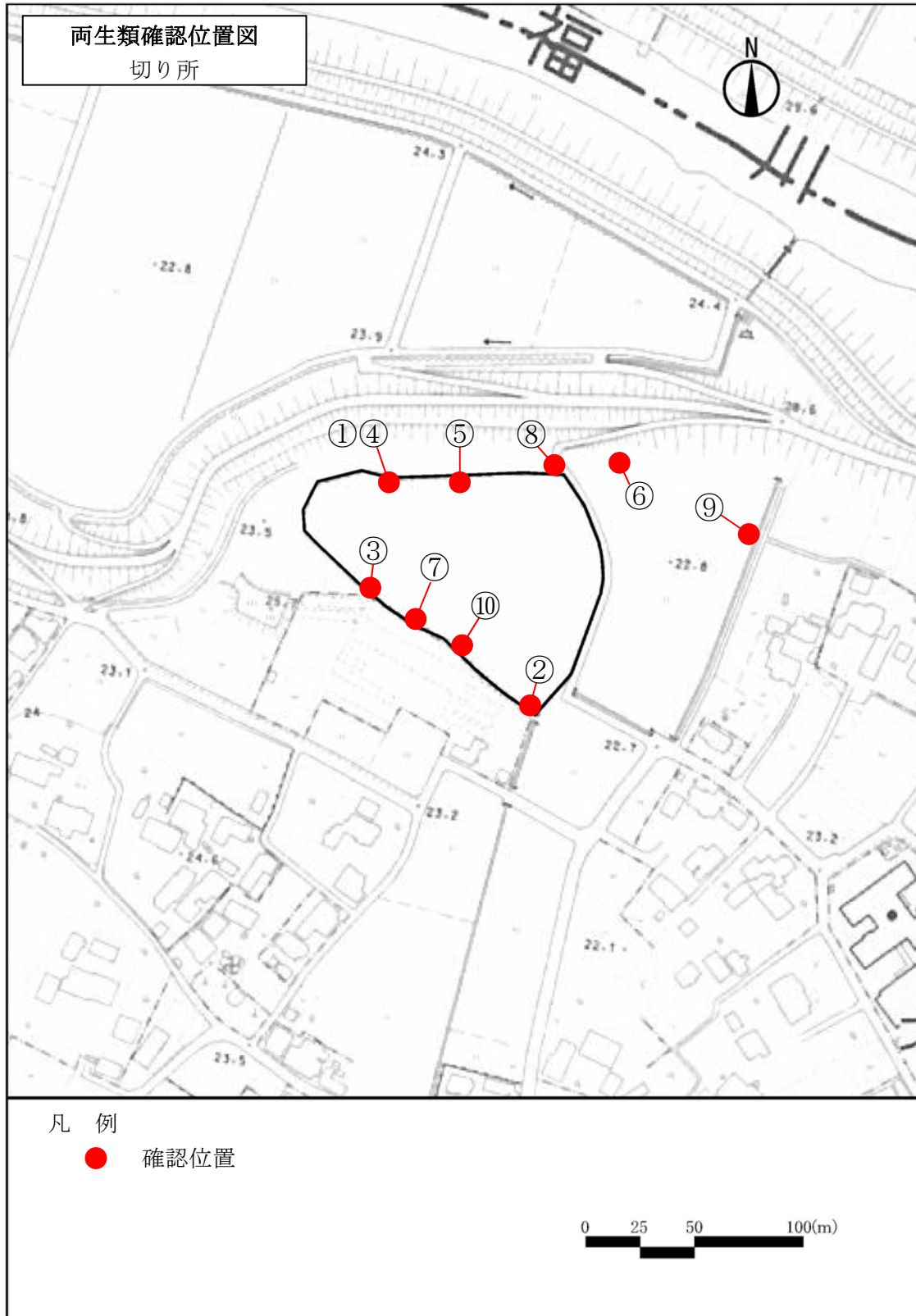


図 2-13 両生類確認位置図

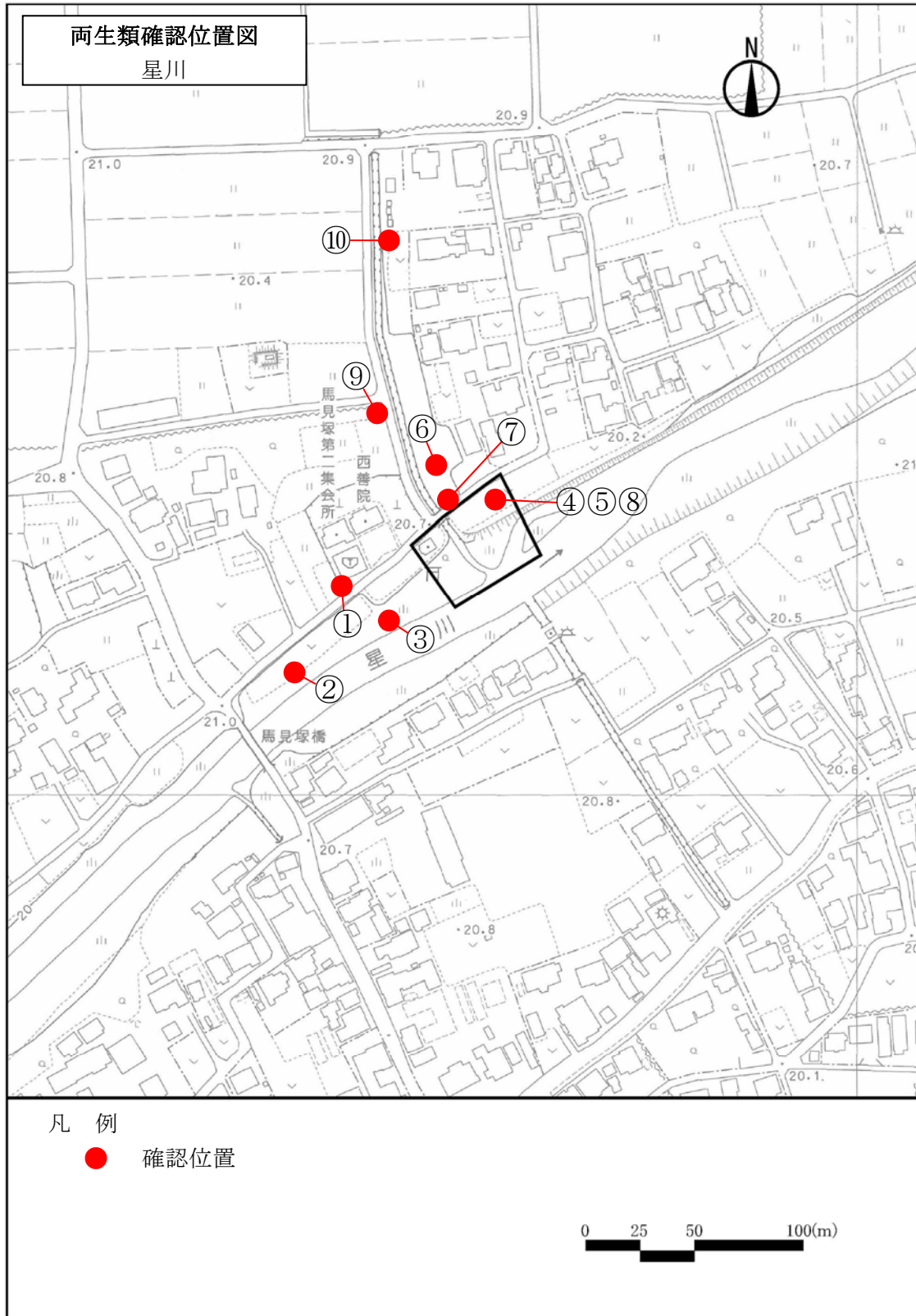


図 2-14 両生類確認位置図



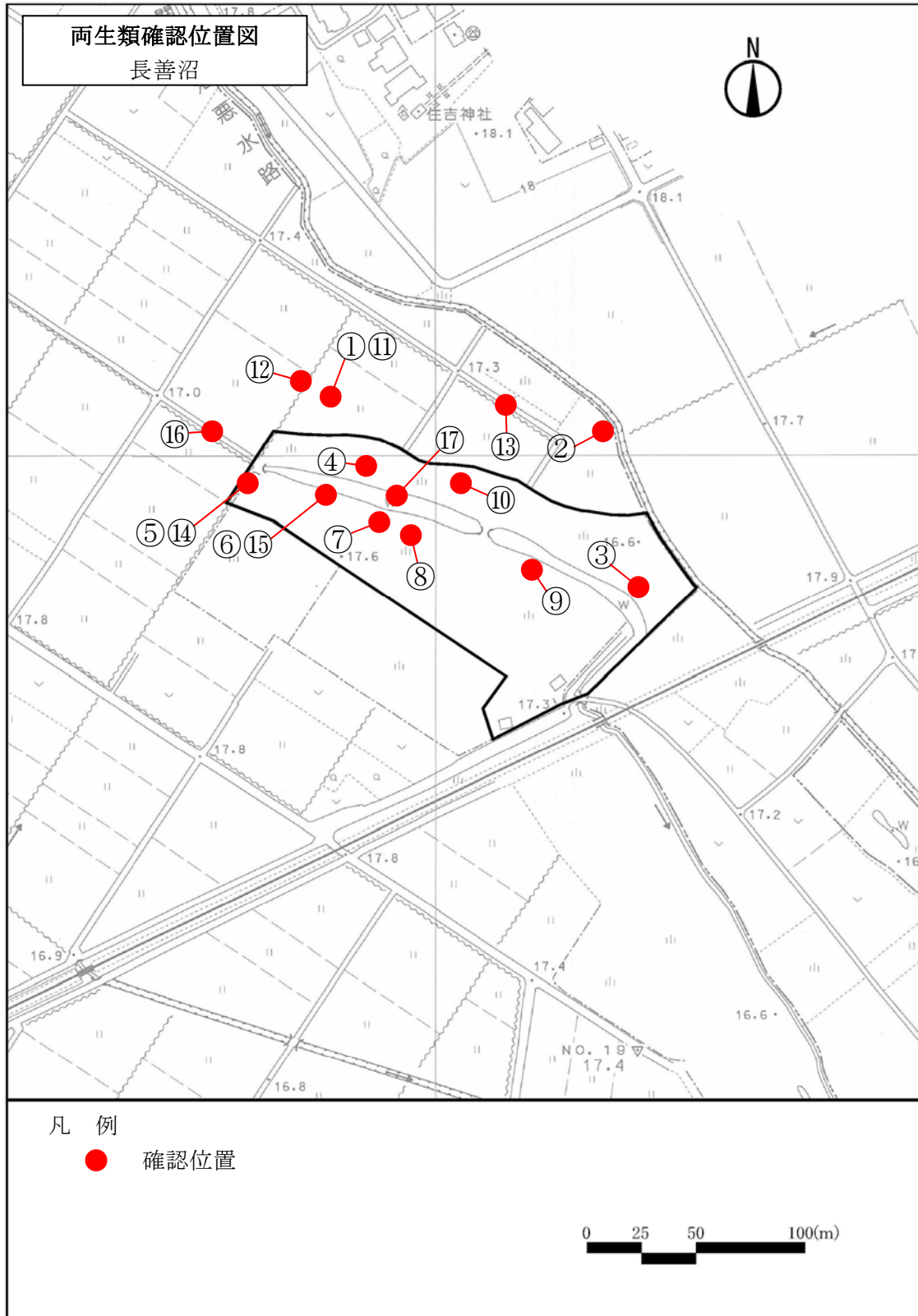


図 2-15 両生類確認位置図

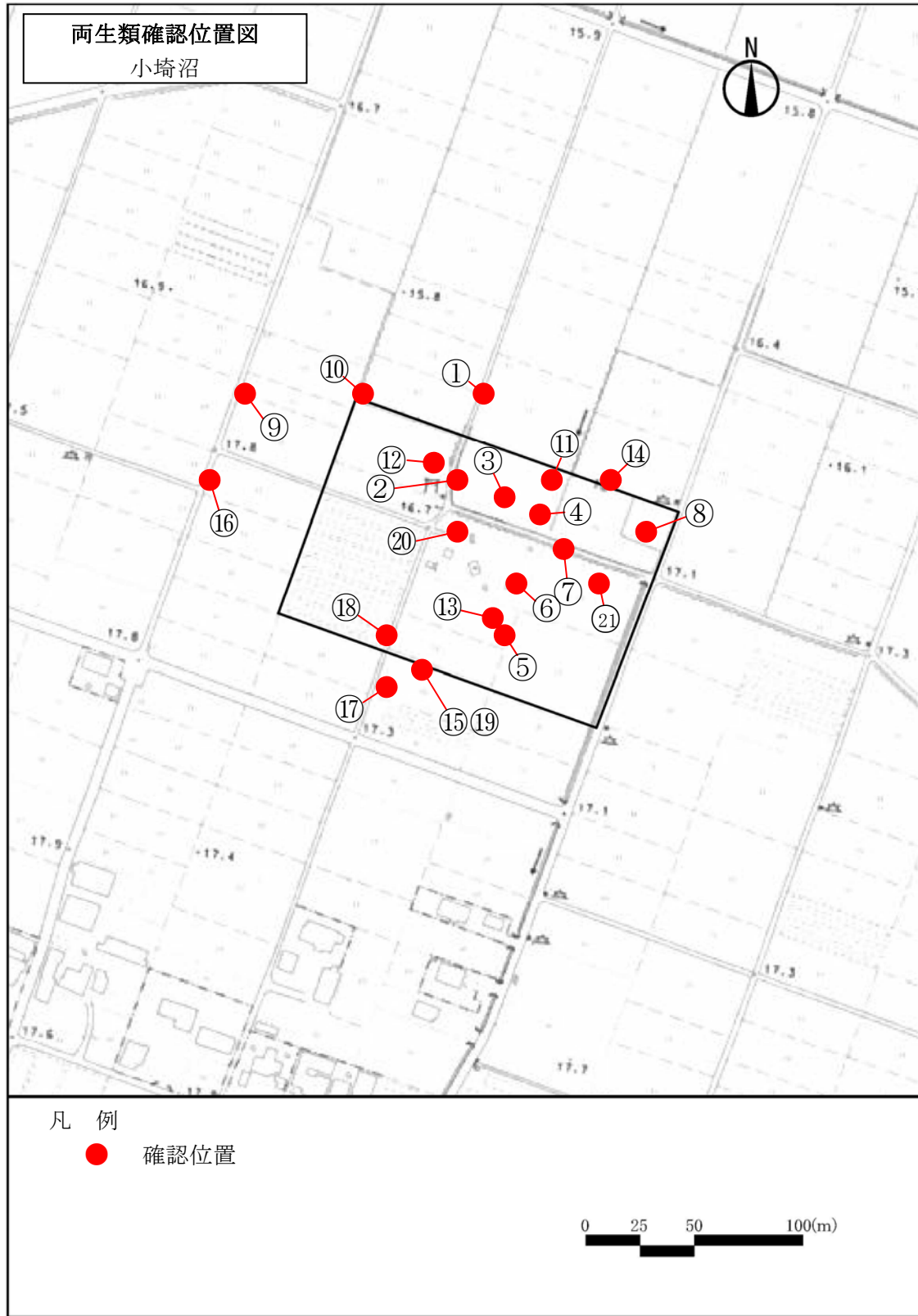


図 2-16 両生類確認位置図



(5) 爬虫類

現地調査の結果、3目3科5種の爬虫類を確認した。この中で、2目2科2種の爬虫類が希少種であった。確認された爬虫類は、長善沼で生息が確認されている。

現地調査で確認された爬虫類一覧を表2-25、現地調査で確認された希少爬虫類一覧を表2-26に示し、爬虫類確認状況及び確認位置を表2-27及び図2-17～20に示す。

表2-25 現地調査で確認された爬虫類一覧

No.	目名	科名	和名	学名	現地調査 (H24)			
					切り所	星川	長善沼	小崎沼
1	カメ	イシガメ	クサガメ	<i>Chinemys reevesii</i>			○	
2			ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>			○	
3	トカゲ	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	○			○
4	ヘビ	ナミヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	○			○
5			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus tigrinus</i>			○	
計	3目	3科	5種		2種	0種	3種	2種

表2-26 現地調査で確認された希少爬虫類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査 (H24)				
				I	II	III	IV	V	VI	切り所	星川	長善沼	小崎沼	
1	カメ	イシガメ	クサガメ				NT2						○	
2	ヘビ	ナミヘビ	ヤマカガシ				NT2						○	
計	2目	2科	2種	0種	0種	0種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	0種

表 2-27 爬虫類確認状況

調査地点	確認位置	和名	確認内容	個体数	確認状況
切り所	1	ニホンカナヘビ	目視	1	—
	2	ニホンカナヘビ	目視	1	—
	3	ニホンカナヘビ	目視	1	—
	4	ニホンカナヘビ	目視	1	—
	5	ニホンカナヘビ	目視	1	—
	6	シマヘビ	目視	1	—
星川	1	ニホンカナヘビ	目視	1	—
長善沼	1	クサガメ	目視	1	調査範囲中央の水路脇で死体を確認
	2	ミシシippアカミミガメ	目視	1	—
	3	ヤマカガシ	目視	1	調査範囲内西側の水路脇で成体を確認
小崎沼	1	ニホンカナヘビ	目視	1	—
	2	シマヘビ	目視	1	—

注 1) 「確認位置」は爬虫類確認位置図の番号に対応している。

注 2) 「確認状況」は希少種についてのみ記載した。

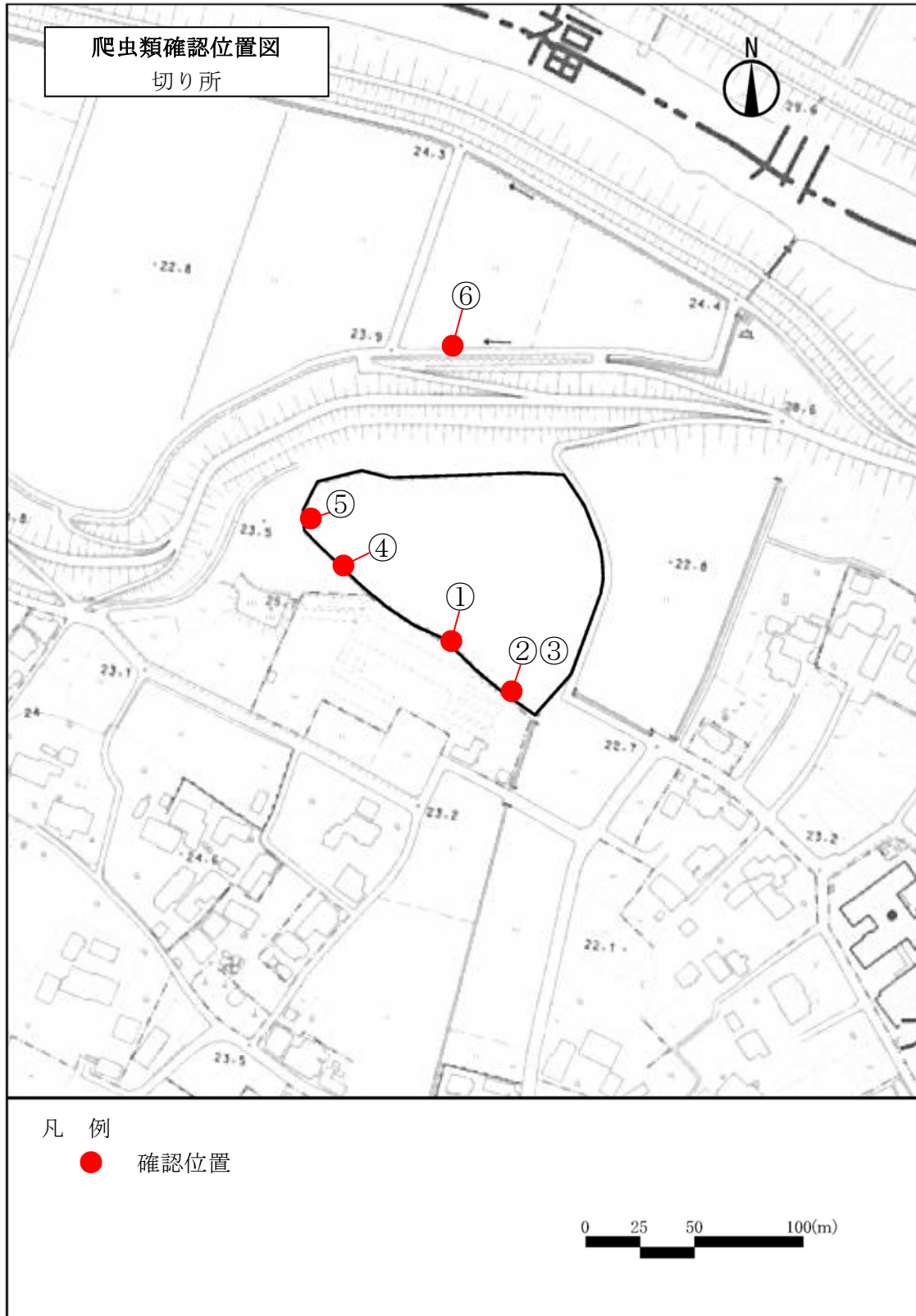


図 2-17 爬虫類確認位置図

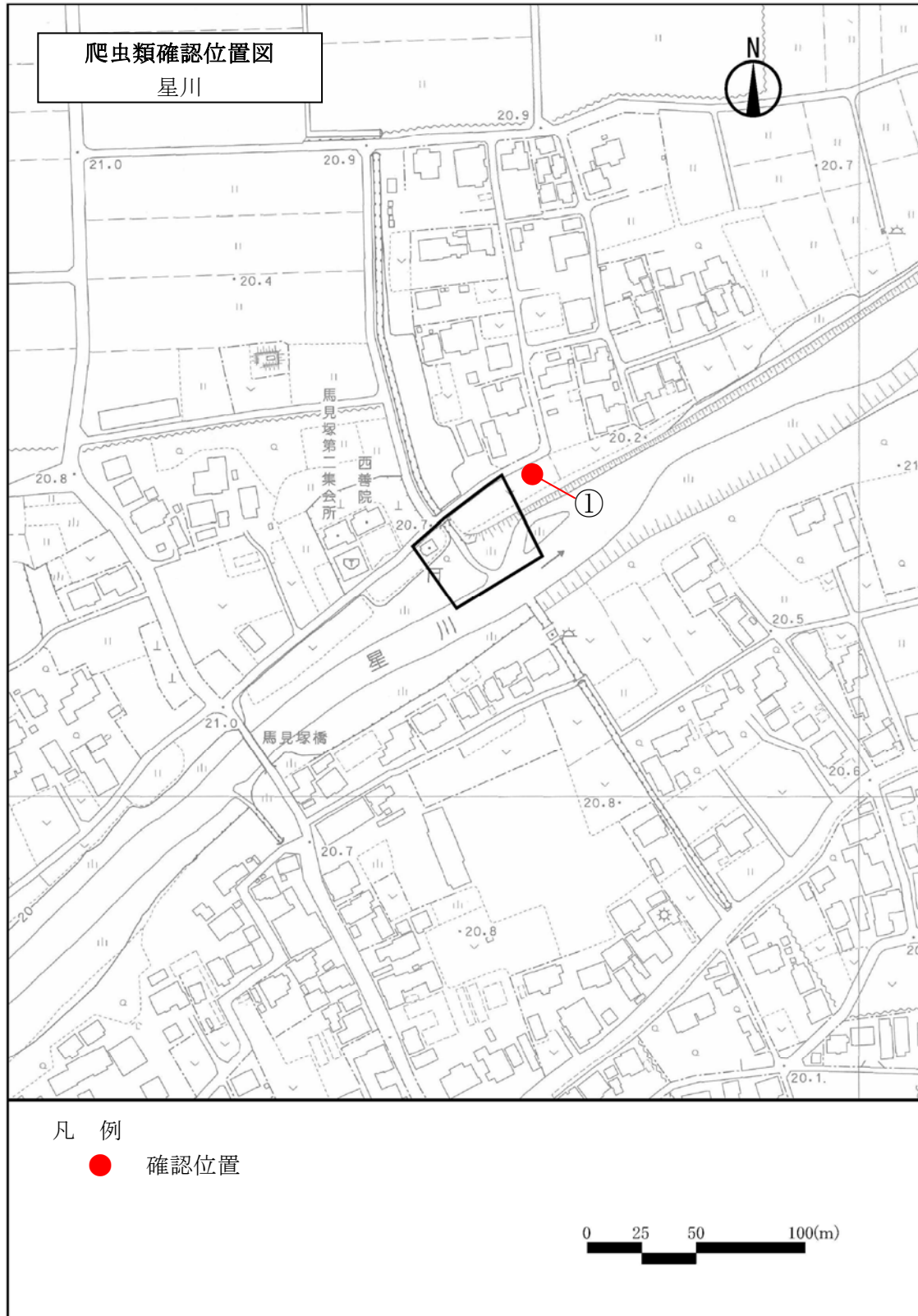


図 2-18 爬虫類確認位置図

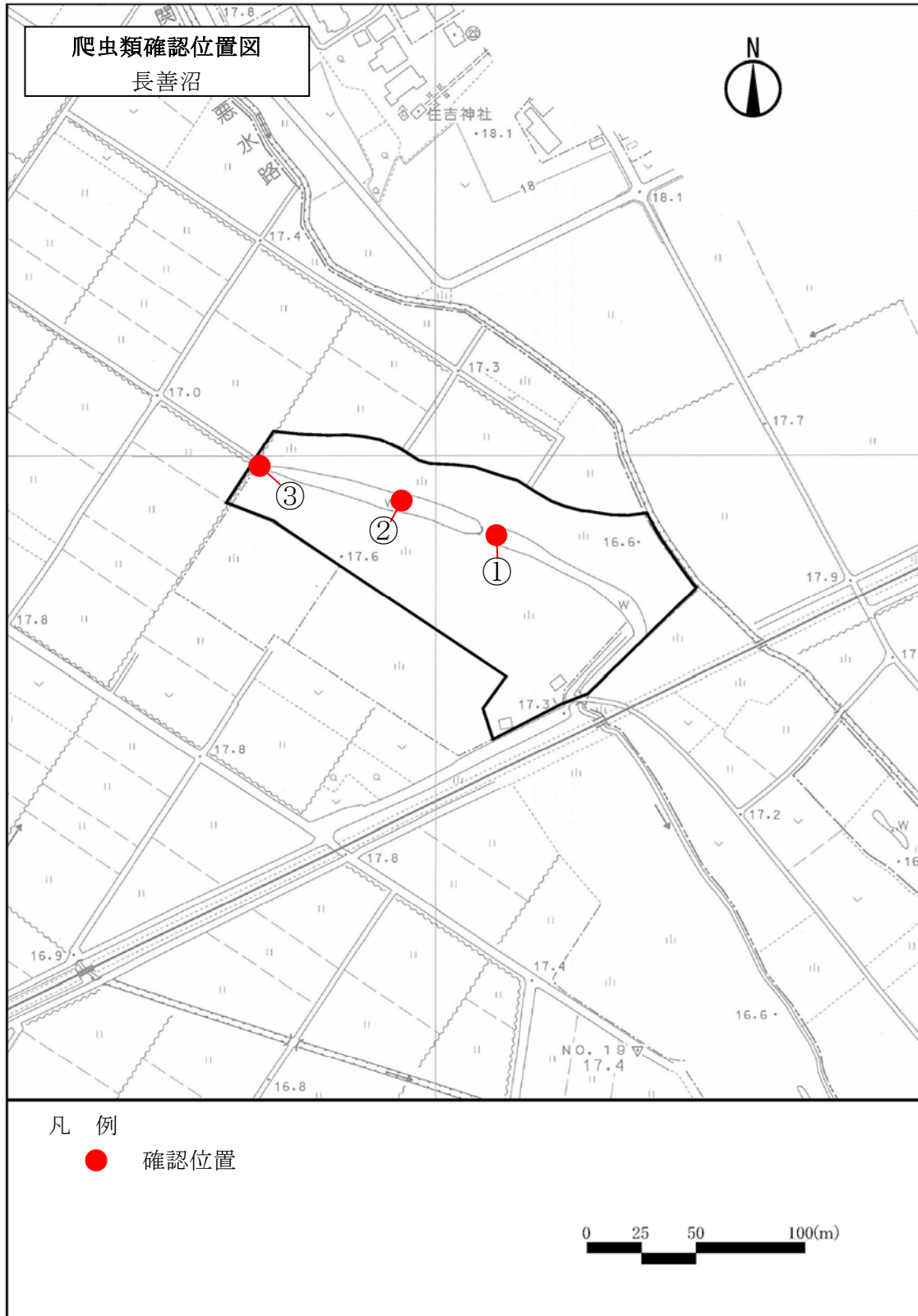


図 2-19 爬虫類確認位置図

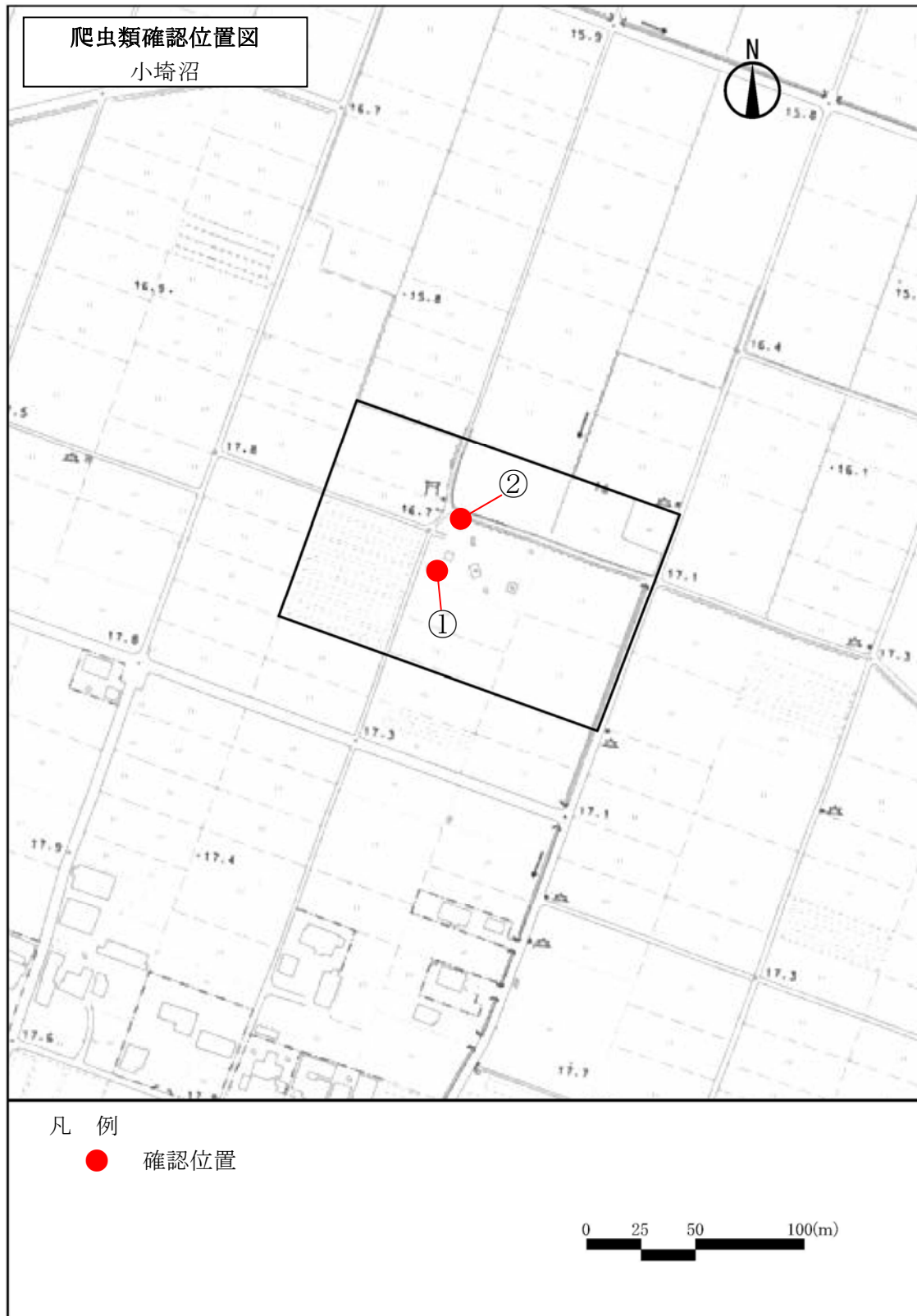


図 2-20 爬虫類確認位置図

(6) 昆虫類

現地調査の結果、9目61科118種の昆虫類を確認した。この中で、3目5科5種の昆虫類が希少種であった。確認された希少昆虫類のうち、チョウ目の昆虫類が3種と最も多く確認されている。

現地調査で確認された昆虫類一覧を表2-28、現地調査で確認された希少昆虫類一覧を表2-29、希少昆虫類確認状況及び確認位置を表2-30及び図2-21~23に示す。

表2-28 現地調査で確認された昆虫類一覧(1)

No.	目名	科名	和名	学名	現地調査 (H24)				
					切り所	星川	長善沼	小埜沼	
1	トンボ	イトトンボ	アジイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>			○		
2			モートイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>		○			
3		アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>	○				
4		サエトンボ	ウチワヤンマ	<i>Ictinogomphus clavatus</i>				○	
5		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○				
6		ヤンマ	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	○	○	○		
7		トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	○	○	○	○	
8			ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>		○		○	
9			コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>	○				
10			ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>				○	
11			ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>				○	
12	カマキリ	カマキリ	コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>		○			
13			オオカマキリ	<i>Tenodera aridefolia</i>	○				
14	ハサミムシ	ハサミムシ	<i>Anisolabis maritima</i>				○		
15	ハッタ	コオロギ	マダラス	<i>Pteronemobius nigrofasciatus</i>			○		
16			エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>	○	○	○	○	
17			ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus mikado</i>		○			
18			コオロギ科の一種	<i>Gryllidae sp.</i>	○				
19			オカメコオロギ属の一種	<i>Loxoblemmus sp.</i>	○			○	
20		マツムシ	アオマツムシ	<i>Calyptotrypus hibinonis</i>				○	
21		ツユムシ	サトクダマキモトキ	<i>Holochlora japonica</i>				○	
22		キリギリス	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>			○		
23			ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>	○	○	○		
24			クヒキリギリス	<i>Euconocephalus varius</i>				○	
25		オンブハッタ	オンブハッタ	<i>Atractomorpha lata</i>	○	○	○	○	
26		ハッタ	ショウリョウハッタ	<i>Acrida cinerea</i>	○	○	○	○	
27			トノサマハッタ	<i>Locusta migratoria</i>	○				
28			クルマハッタモトキ	<i>Oedaleus infernalis</i>	○	○	○		
29			ハネカグイナゴ	<i>Oxya japonica japonica</i>		○			
30			コハネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	○				
31			イボハッタ	<i>Trilophidia annulate japonica</i>	○				
32			ハッタ	ヒシハッタ	ハネカグヒシハッタ	<i>Euparattix insularis</i>			○
33		コハネヒシハッタ			<i>Formosatettix larvatus</i>			○	○
34	ハラヒシハッタ	<i>Tetrix japonica</i>				○		○	
35	ヤセヒシハッタ	<i>Tetrix macilentata</i>				○	○		
36	ノミハッタ	ノミハッタ	<i>Xya japonica</i>			○			

現地調査(昆虫類)

表 2-28 現地調査で確認された昆虫類一覧 (2)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査 (H24)					
					切り所	星川	長善沼	小崎沼		
37	カメシ	アオハ <sup>ハコ</sup> ロモ	アオハ <sup>ハコ</sup> ロモ	<i>Geisha distinctissima</i>		○				
38		セミ	アブ <sup>ラセ</sup> ミ		<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	○	○	○	○	
39			ツクツクホ <sup>ウシ</sup>		<i>Meimuna opalifera</i>	○	○	○	○	
40			ミンシ <sup>セ</sup> ミ		<i>Oncotympana maculaticollis</i>	○	○	○		
41			ニニイ <sup>セ</sup> ミ		<i>Platypleura kaempferi</i>			○	○	
42		アワキ <sup>ムシ</sup>	シロオヒ <sup>アワ</sup> キ		<i>Aphrophora intemedia</i>				○	
43		オオヨコ <sup>ハ</sup> イ	オオヨコ <sup>ハ</sup> イ		<i>Cicadella viridis</i>			○		
44		アメン <sup>ホ</sup>	アメン <sup>ホ</sup>		<i>Gerris paludum paludum</i>	○	○			
45		メクラ <sup>カメシ</sup>	アカヒケ <sup>ホソ</sup> ミト <sup>リ</sup> メクラ <sup>カ</sup> メ		<i>Trigonotylus ruficornis</i>				○	
46		ク <sup>ン</sup> ハ <sup>イ</sup> ムシ	ナシク <sup>ン</sup> ハ <sup>イ</sup>		<i>Stephanitis nashi</i>			○		
47		ナガ <sup>カメシ</sup>	ヒメナガ <sup>カメシ</sup>		<i>Nysius plebejus</i>			○		
48			ヒメオオ <sup>カメシ</sup>		<i>Geocoris proteus</i>			○		
49		ハリ <sup>カメシ</sup>	ホソハリ <sup>カメシ</sup>		<i>Cletus punctiger</i>	○	○	○	○	
50			ハリ <sup>カメシ</sup>		<i>Cletus rusticus</i>			○		
51		マル <sup>カメシ</sup>	ヒメマル <sup>カメシ</sup>		<i>Coptosoma biguttulum</i>				○	
52		カメシ	ブ <sup>チ</sup> ヒゲ <sup>カメシ</sup>		<i>Dolycoris baccalum</i>			○		
53			シラホシ <sup>カメシ</sup>		<i>Eysarcoris ventralis</i>	○				
54			チャハ <sup>ネ</sup> アオ <sup>カメシ</sup>		<i>Plautia crossota stali</i>				○	
55			カメシ科の一種		<i>Pentatomidae sp.</i>	○		○	○	
56		カスミ <sup>カメシ</sup>	カスミ <sup>カメシ</sup> 科の一種		<i>Miridae sp.</i>				○	
57		コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ	<i>Cicindela specularis</i>				○	
58			オサムシ	セアカヒラ <sup>タコ</sup> ミシ		<i>Dolichus halensis</i>		○		○
59				ニセ <sup>コ</sup> モク <sup>シ</sup>		<i>Harpalus pseudophonoides</i>				○
60				コ <sup>モク</sup> シ <sup>亜</sup> 科の一種		<i>Harpalinae sp.</i>	○			○
61			コガ <sup>ネ</sup> ムシ	キンズジ <sup>コガ</sup> ネ		<i>Mimela holosericea</i>				○
63				マメコ <sup>ガ</sup> ネ		<i>Popillia japonica</i>	○		○	
64			タマ <sup>シ</sup>	ヤマトタマ <sup>シ</sup>		<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>				○
65			コメツ <sup>キ</sup> ムシ	サヒ <sup>キ</sup> コリ		<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>			○	
66			テントウムシ	ナナホシ <sup>テントウ</sup>		<i>Coccinella septempunctata</i>		○		
67				シロホシ <sup>テントウ</sup>		<i>Vibidia duodecimguttata</i>				○
68		ニジ <sup>ユウ</sup> ヤホシ <sup>テントウ</sup>			<i>Epilachna vigintioctopunctata</i>	○				
69		テントウムシ科の一種			<i>Coccinellidae sp.</i>				○	
70		ツチハンミョウ	マメハンミョウ		<i>Epicauta gorhami</i>		○			
71	コ <sup>ミ</sup> シ <sup>タ</sup> マシ	スナコ <sup>ミ</sup> シ <sup>タ</sup> マシ		<i>Gonocephalum japanum</i>				○		
72	ハムシ	ヨモキ <sup>ハムシ</sup>		<i>Chrysolina aurichalcea</i>			○			
73		ルリ <sup>ハムシ</sup>		<i>Linnaeidea aenea</i>			○			
74		ウリ <sup>ハムシ</sup>		<i>Aulacophora femoralis</i>				○		
75		クロウリ <sup>ハムシ</sup>		<i>Aulacophora nigripennis</i>				○		
76		ヒメカメ <sup>ノ</sup> コ <sup>ハムシ</sup>		<i>Cassida piperata</i>				○		
77		ハムシ科の一種		<i>Chrysomelidae sp.</i>			○			



表 2-28 現地調査で確認された昆虫類一覧 (3)

No.	目名	科名	和名	学名	現地調査 (H24)			
					切り所	星川	長善沼	小埜沼
78	ハチ	ツチハチ	キンクハラナカ <sup>ツチハチ</sup>	<i>Megacampsomeris prismatica</i>				○
79		ヘ <sup>ツコウ</sup> ハチ	ヘ <sup>ツコウ</sup> ハチ	<i>Cyphononyx dorsalis</i>				○
80		ト <sup>ロ</sup> ハチ	キホ <sup>シツクリ</sup> ハチ	<i>Eumenes fraterculus</i>		○	○	
81			ヤマトハムシト <sup>ロ</sup> ハチ	<i>Symmorphus apiciornatus</i>			○	
82		ス <sup>メ</sup> ハチ	セ <sup>ク</sup> ロアシナカ <sup>ハチ</sup>	<i>Polistes jadwigae jadwigae</i>			○	
83		ア <sup>ナ</sup> ハチ	クロア <sup>ナ</sup> ハチ	<i>Sphex argentatus fumosus</i>			○	
84		ア <sup>リ</sup> ハチ	フタホシア <sup>リ</sup> ハチ	<i>Neotrogaspidia pustulata</i>				○
85		ミ <sup>ツ</sup> ハチ	セイヨウミ <sup>ツ</sup> ハチ	<i>Apis mellifera</i>	○			
86			ミ <sup>ツ</sup> ハチ科の一種	<i>Apidae</i> sp.				○
87	ハエ	カ <sup>カ</sup> ンホ <sup>ク</sup>	カ <sup>カ</sup> ンホ <sup>ク</sup> 科の一種	<i>Tipulidae</i> sp.			○	
88		ハ <sup>ナ</sup> ア <sup>フ</sup>	シロスジ <sup>ハナ</sup> ア <sup>フ</sup>	<i>Volucella pellucens tabanoides</i>				○
89			ナミ <sup>ハ</sup> ア <sup>フ</sup>	<i>Eristalis tenax</i>		○		
90		ショウジ <sup>ヨウ</sup> ハ <sup>エ</sup>	ショウジ <sup>ヨウ</sup> ハ <sup>エ</sup> の一種	<i>Drosophila</i> sp.				○
91		ニ <sup>ク</sup> ハ <sup>エ</sup>	ニ <sup>ク</sup> ハ <sup>エ</sup> 科の一種	<i>Sarcophagidae</i> sp.	○			
92		クロ <sup>ハ</sup> エ	クロ <sup>ハ</sup> エ科の一種	<i>Calliphoridae</i> sp.	○			
93	チョウ	マ <sup>ダ</sup> ラ <sup>カ</sup>	ホタル <sup>カ</sup>	<i>Pidorus atratus</i>				○
94		メ <sup>イ</sup> カ <sup>ク</sup>	ヨツホ <sup>ク</sup> シノメ <sup>イ</sup> カ <sup>ク</sup>	<i>Glyphodes quadrimaculalis</i>			○	
95			シロオビ <sup>ク</sup> ノメ <sup>イ</sup> カ <sup>ク</sup>	<i>Leucinodes apicalis</i>				○
96			メ <sup>イ</sup> カ <sup>ク</sup> 科の一種	<i>Pyrilidae</i> sp.	○	○		
97		セ <sup>セ</sup> リ <sup>チ</sup> ョウ	キ <sup>ン</sup> イ <sup>チ</sup> モンシ <sup>セ</sup> リ	<i>Leptalina unicolor</i>			○	
98			イ <sup>チ</sup> モンシ <sup>セ</sup> リ	<i>Parnara guttata guttata</i>	○	○	○	○
99		ア <sup>ケ</sup> ハ <sup>チ</sup> ョウ	ア <sup>オ</sup> スジ <sup>ア</sup> ケ <sup>ハ</sup>	<i>Graphium sarpedon</i>		○	○	○
100			カ <sup>ラ</sup> スア <sup>ケ</sup> ハ	<i>Papilio bianor dehaanii</i>	○			
101			キ <sup>ア</sup> ケ <sup>ハ</sup>	<i>Papilio machaon hippocrates</i>		○		○
102			ナミ <sup>ア</sup> ケ <sup>ハ</sup>	<i>Papilio xuthus</i>		○		
103		シ <sup>ロ</sup> チョウ	モンキ <sup>チ</sup> ョウ	<i>Colis erate poliographus</i>	○	○	○	
104			キ <sup>チ</sup> ョウ	<i>Eurema hecabe</i>		○	○	
105			モンシ <sup>ロ</sup> チョウ	<i>Pieris rapae</i>	○	○		○
106		シ <sup>ジ</sup> ミ <sup>チ</sup> ョウ	ツ <sup>ハ</sup> メ <sup>シ</sup> ミ	<i>Everes argiades hellotia</i>	○	○	○	
107			ヘ <sup>ニ</sup> シ <sup>ジ</sup> ミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>	○		○	
108			ヤ <sup>マ</sup> トシ <sup>ジ</sup> ミ	<i>Zizeeria mada argia</i>			○	○
109		ウ <sup>ラ</sup> キ <sup>ン</sup> シ <sup>ジ</sup> ミ	ウ <sup>ラ</sup> キ <sup>ン</sup> シ <sup>ジ</sup> ミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>		○		
110		タ <sup>テ</sup> ハ <sup>チ</sup> ョウ	ツ <sup>マ</sup> ク <sup>ロ</sup> ヒョウ <sup>モン</sup>	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>	○	○	○	
111	ア <sup>サ</sup> マイ <sup>チ</sup> モンシ <sup>ジ</sup>		<i>Ladoga glorifica</i>				○	
112	コ <sup>ミ</sup> シ <sup>ジ</sup>		<i>Neptis sappho intermedia</i>			○	○	
113	シ <sup>ヤ</sup> ノメ <sup>チ</sup> ョウ	ヒ <sup>メ</sup> シ <sup>ヤ</sup> ノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>		○			
114		ヒ <sup>メ</sup> ウ <sup>ラ</sup> ナ <sup>シ</sup> ヤ <sup>ノ</sup> メ	<i>Ypthima argus</i>	○				
115	シ <sup>ヤ</sup> ク <sup>カ</sup>	ミ <sup>ジ</sup> ン <sup>キ</sup> ヒ <sup>メ</sup> シ <sup>ヤ</sup> ク	<i>Idaea trisetata</i>				○	
116	カ <sup>ノ</sup> コ <sup>カ</sup>	カ <sup>ノ</sup> コ <sup>カ</sup>	<i>Amata fortunei</i>			○		
117	ヤ <sup>カ</sup>	オ <sup>ウ</sup> ン <sup>モン</sup> ク <sup>チ</sup> ハ <sup>ク</sup>	<i>Mocis undata</i>			○		
118		ヤ <sup>カ</sup> 科の一種	<i>Noctuidae</i> sp.			○		
計	9 目	61 科	118 種		38 種	37 種	51 種	54 種

表 2-29 現地調査で確認された希少昆虫類一覧

No.	目名	科名	和名	選定基準						現地調査 (H24)				
				I	II	III	IV		V	VI	切り所	星川	長善沼	小埼沼
							全県	加中 須川・ 地区						
1	トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ			NT	VU	CR+ EN				○		
2	バッタ	バッタ	ハネナガイナゴ				NT	CR				○		
3	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ			NT	NT2	NT2					○	
4		アゲハチョウ	アオスジアゲハ							特G		○	○	○
5		タテハチョウ	アサマイチモンジ				NT2	CR						
計	3目	5科	5種	0種	0種	2種	4種	4種	0種	1種	0種	3種	2種	2種

表 2-30 希少昆虫類確認状況

調査地点	確認位置	和名	個体数	確認状況
切り所	—	—	—	—
星川	1	モートンイトトンボ	1	調査範囲外東側の草地で確認
	2	ハネナガイナゴ	1	調査範囲外東側の草地で確認
	3	アオスジアゲハ	1	調査範囲外西側のクサギで確認
	4	アオスジアゲハ	1	調査範囲外西側のシラカシで確認
長善沼	1	アオスジアゲハ	1	調査範囲内南側の樹木付近で確認
	2	アオスジアゲハ	1	調査範囲内南側の樹木付近で確認
	3	ギンイチモンジセセリ	1	調査範囲北側の水路脇で確認
小埼沼	1	アオスジアゲハ	1	調査範囲内東側の水田で確認
	2	アサマイチモンジ	1	調査範囲中央の社寺林内で確認

注 1) 「確認位置」は昆虫類確認位置図の番号に対応している。

注 2) 「確認状況」は希少種についてのみ記載した。

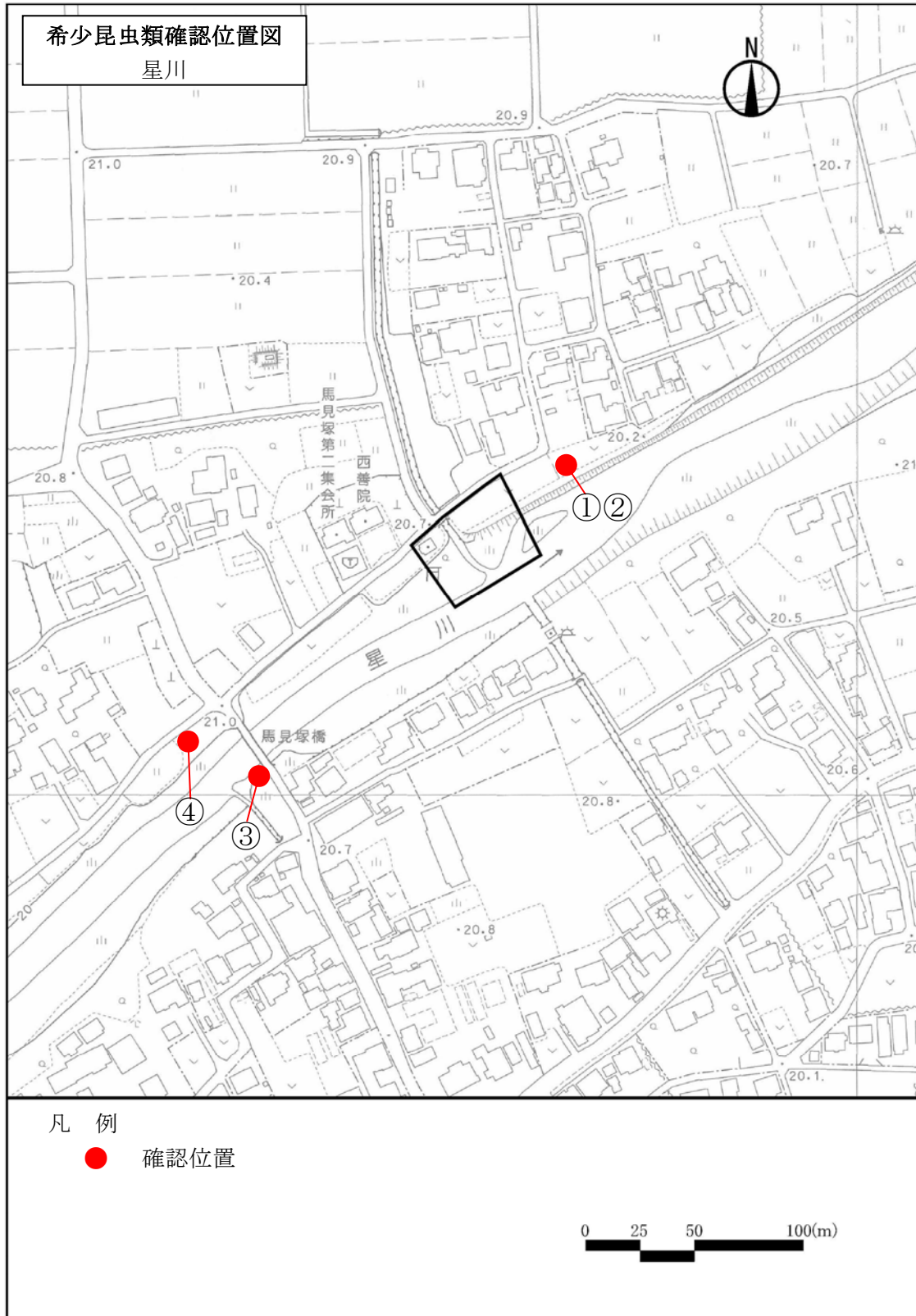


図 2-21 昆虫類確認位置図

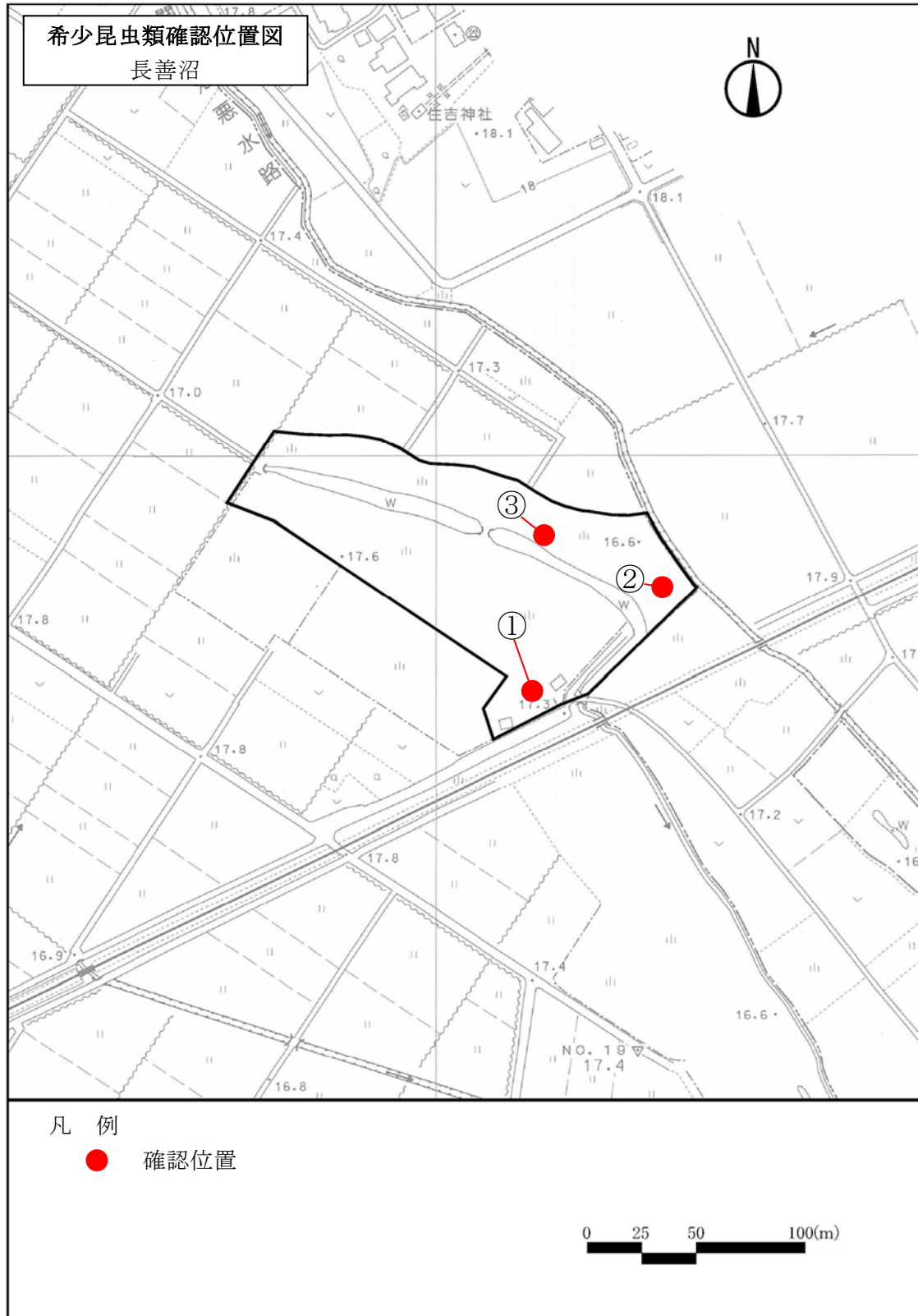


図 2-22 昆虫類確認位置図

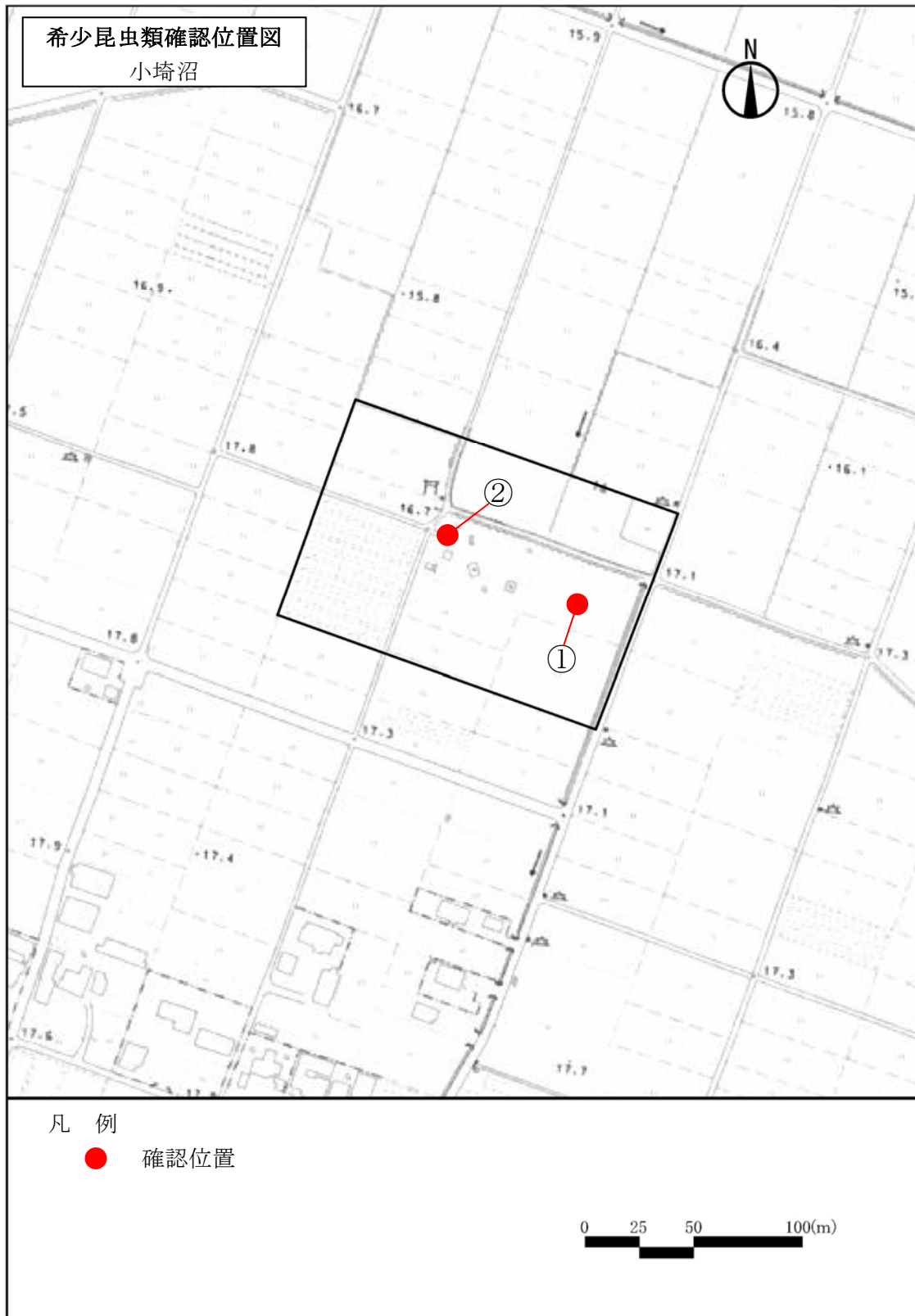


図 2-23 昆虫類確認位置図

(7) キタミソウ補足調査結果

①キタミソウ(北見草)の特徴について

北半球の温帯から亜寒帯にかけて広く分布するゴマノハグサ科の小型の多年草で、国外では、シベリア、カムチャッカ半島、サハリン(ツンドラ地帯)、日本国内では北海道北見地方、埼玉県東部、茨城県西部、群馬県、熊本県江津湖だけに見られる希少な植物である。明治時代の中頃、北海道の北見地方で発見されたことから「キタミソウ」と名づけられている。

キタミソウは、もともと北方のツンドラ地帯に生育し、長い冬の後、雪解けとともに芽を出し、花をつけるという生活史を持っている。しかし、行田市の星川で見られるキタミソウは、夏の間、水底で休眠しており、稲作が終わり、川の水位が下がった時期に芽を出すという、夏冬の逆転した生活史を持っている。

草丈は、2~5cm程度、葉は細いへら状をした形で、多くの葉を伸ばす。花は、葉に隠れるように、直径2.5mm~3mm程度の小さな白い花をつける。さらに、地面をほうのように、ほふく茎(ランナー)と呼ばれる茎が伸長し、新たな個体が発生する。その後、多くの種子が形成されると、休眠期に移行する。このような生活史のサイクルは、水位の管理や生育地の保全活動によって維持されてきた。

その他、キタミソウについては、埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例(平成12年3月施行)により、「県内希少野生動植物種」に指定されており、生きている個体の採取等には、知事への届出が必要となっている。



キタミソウ(平成25年3月27日撮影)

撮影地:市営住宅斎条団地付近



②現地調査結果

現地調査は、市内を流れる星川河川敷において、平成 25 年 2 月 8 日に実施した。これまでに、キタミソウの生育が確認されている星川橋付近、馬見塚橋付近、和田地区付近、市営住宅斎条団地付近、荒木取水ポンプ所付近の 5 地点において、生育状況等の確認を行った。

・星川橋付近

星川橋上流右岸付近では、キタミソウの葉は枯れかけており、種子を形成している個体がほとんどであった。生育地では、自然の裸地が維持されており、生育環境は良好であると判断された。



星川橋上流右岸より下流側を望む



キタミソウ (星川橋上流)

・馬見塚橋付近

馬見塚橋下流左岸部では、平成 24 年の秋季から平成 25 年の冬季にかけて、改修工事が行われた。キタミソウ自生地の表土については、工事の際、適切に保存され、自然裸地として新たな生育地の創出が行われた。このため、乾燥化による影響が見られるが、工事区間の左岸部ではキタミソウの生育が確認された。ほとんどの個体は、地上部の葉が枯れており、種子を形成している状態であった。



馬見塚橋下流より上流側を望む



キタミソウ (馬見塚橋下流)

- 和田地区付近

和田地区付近の左岸部では、キタミソウの葉は枯れており、種子を形成している個体がほとんどであった。生育地では、自然の裸地が維持されており、生育環境は良好であると判断された。



和田地区下流より上流側を望む



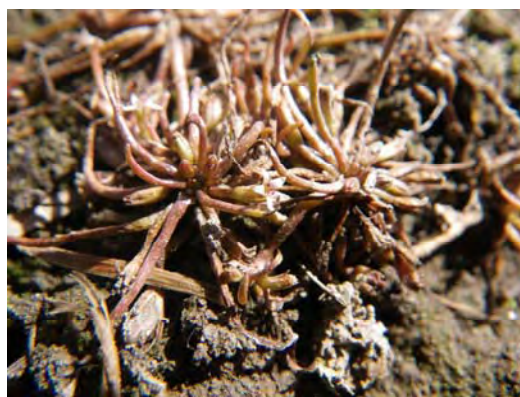
キタミソウ (和田地区付近)

- 市営住宅齋条団地付近

齋条団地付近では、ヨシなどの大型の植物が群生している場所が多く、キタミソウ生育地は、水際裸地の狭い範囲に限られるが、キタミソウの生育は良好で、開花する個体も確認された。



市営住宅齋条団地付近から上流側を望む



キタミソウ (齋条団地付近)



- 荒木取水ポンプ所付近

荒木取水ポンプ所付近では、一部にコンクリート護岸がみられるが、キタミソウ生育地は、比較的多く残っており、開花する個体も確認された。



荒木取水ポンプ所付近より上流側を望む



キタミソウ (荒木取水ポンプ所付近)

### 3. 考察

#### 3.1 水田環境の保全

行田市内の水辺として、多く残されている環境は水田であり、緑の現況量の約70%を占めている。これら水田には、用水路・排水路が設置されており、大部分が素堀の水路となっている。これらの水路には、一部の水生植物や中型哺乳類、両生類などが生息する単純な生態系が維持されている場所が多い。

以下に水田環境を維持・整備する際の配慮事項を示す。

- ① 用水路・排水路の整備の際は、整備区間の一部に生物が生育・生息しやすい環境を創出する。
- ② 水田の畦などに生育する植物のミズワラビ（シダ植物）、コイヌガラシ（アブラナ科）、コギシギシ（タデ科）などの希少種は、土水路や水田内に群落を形成する場合があることから、除草剤による除草を少なくし、生育期における過度の草刈を控えることで、種の個体数を維持することができる。

#### 3.2 希少動植物の保全

希少動植物の主な生育・生息場所である水辺環境において、護岸整備が行われる場合は、動植物の保全を踏まえ、整備することが重要である。

以下に希少動植物の保全の際の配慮事項を示す。

- ① ため池や河川といった水辺と周辺環境（樹林地、水田、草地）との連続性を高めるため、移行帯の斜面を緩やかな斜面にし、小型動物が移動しやすい環境とする。このような環境には、植物の生育も期待できる。



星川キタミソウ自生地整備の様子

- ② ヨシなどの植物群落は、動物の隠れ家、繁殖場所として利用されることから、生物多様性が維持されている環境となっており、さまざまな動物の保全につながる。



星川・斎条団地付近のヨシ群落

- ③ 水辺に残る低木～高木の樹木で構成される植物群落は、鳥類の営巣木、小動物の生息空間として利用される。市内では、星川沿いに多くみられる。




星川沿いにみられる樹林地

### 3.3 外来生物の管理

特定外来生物<sup>※</sup>を含む外来生物の移動、持込や増殖を防ぎ、動植物の生育・生息環境を保全するとともに、望ましい生態系を維持・回復させる。

主な外来生物を表 3-1 に示す。

表 3-1 外来生物

区分	対象種	考えられる影響
植物	 ミズヒマワリ【特定外来生物】 撮影：茨城県新利根川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キタミソウ自生地への侵入</li> <li>・ 繁茂による水路の閉塞</li> <li>・ 水辺で優占し、他の植物を駆逐</li> </ul> <確認されている場所> 利根川、福川、星川
	 オオフサモ【特定外来生物】 撮影：茨城県	
哺乳類	 アライグマ【特定外来生物】 出典：環境省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果樹園への被害</li> <li>・ 木造建築物への被害</li> </ul> <確認されている場所> 切り所、星川
両生類	 ウシガエル【特定外来生物】 出典：環境省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小型動物を捕食</li> <li>・ 生態系の攪乱</li> </ul> <確認されている場所> 切り所、星川、長善沼、小崎沼



<p>爬虫類</p>	 <p>ミシシippアカミミガメ 撮影：茨城県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生態系の攪乱</li> <li>・ 在来種の駆逐</li> </ul> <p>&lt;確認されている場所&gt; 切り所、星川、長善沼</p>
<p>魚類</p>	 <p>オオクチバス【特定外来生物】 出典：環境省</p>  <p>ブルーギル【特定外来生物】 出典：環境省</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の在来魚、小動物を捕食</li> <li>・ 生態系の攪乱</li> </ul> <p>&lt;確認されている場所&gt; 切り所、星川</p>
<p>甲殻類</p>	 <p>アメリカザリガニ 撮影：栃木県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の小型動物を捕食</li> <li>・ 水草への影響</li> <li>・ 生態系の攪乱</li> </ul> <p>&lt;確認されている場所&gt; 小埼沼（資料調査）</p>

※特定外来生物とは、生態系を破壊するおそれがあると認定された外来生物で、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月2日法律第78号）に基づき指定されている。

### 3.4 自然環境調査地における環境保全対策の考え方

#### (1) 北河原地区切り所周辺

本調査地は、大部分がため池で占められ、周囲に水田が多く見られる。切り所沼の周囲については、護岸の整備が進んでおり、また、釣り人が多く利用していることから、ため池北側から東側にかけては、動植物はあまり見られない。しかしながら、西側では、行田市の湿地環境を特徴づけるアカメヤナギの高木が数本みられ、その場所において、爬虫類のカナヘビや昆虫類のトンボ類が確認された。

付近の水田は土水路が見られ、コイヌガラシやコギシギシといった湿地環境に生育する希少植物が比較的多く見られた。

本調査地については、ため池周りに残されているアカメヤナギなどの樹木類や下草の草本類を適切に保全することにより、動物種の保全が図られる。さらに周辺環境を形成する水田や水路に生育する希少植物の保全も重要である。



図 3-1 切り所沼に生育するアカメヤナギ高木

#### (2) 南河原地区星川周辺

本調査地は、希少植物のキタミソウの自生地となっている。今回の調査で、流入水路付近において、特定外来生物（植物）であるミズヒマワリの生育が確認された。確認された個体は小さく、護岸整備後に定着したと考えられる。また、水路と星川の合流地点付近に、流下してきたと考えられるミズヒマワリの茎の断片も確認されたことから、水路を通してミズヒマワリが侵入してきた可能性が高いと判断される。

埼玉県レッドデータブックにおいて 2008 年～2010 年に確認されたミズヒマワリ（●）の分布状況を図 3-3 に示す。これによれば、行田市の北部でミズヒマワリの生育が確認されている。

今後の対策として、生育が確認された場合は、群落を形成する前に防除等を実施する必要がある。



図 3-2 星川で生育を確認したミズヒマワリ



●印：2008・2009・2010 年度の調査結果  
 出典：埼玉県レッドデータブック 2011

図 3-3 行田市付近のミズヒマワリ分布状況

### (3) 荒木地区長善沼周辺

本調査地の周辺環境は、水田などの耕作地が大部分を占めており、住宅等はあまり見当たらない。さらに調査地は最終処分場となっており、人の立ち入りが禁止されていることから、中型哺乳類が利用しやすい生息環境となっていると考えられる。また、ため池には、希少な爬虫類であるクサガメも生息しており、里山環境に類似した生息環境が維持されてきたことがうかがえた。

調査地は、敷地の一部に公園樹木が植栽されており、小規模ながら樹林地を形成している。また、盛土部の築山状の場所もみられ、多様な環境が残されている場所となっている。



図 3-4 長善沼

(4) 埼玉地区小埼沼周辺

平成 19 年度の調査と同様に、水路及び水田において両生類であるトウキョウダルマガエルが多数確認された。また、本年度の調査において、これらカエルを捕食する爬虫類のシマヘビの生息も確認され、生態系が維持されてきたことがうかがえた。このことから、本調査地において、圃場等の整備をする際は、これら生物種に配慮する必要がある。

現地調査では、特に土水路が残されている水田周りで、トウキョウダルマガエルが多数確認されており、希少植物であるミズワラビやコイヌガラシの生育も確認されていることから、土水路の保全が望まれる。



図 3-5 小埼沼